



# Dell Precision ワークステーション T3610


## オーナーズ マニュアル



## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2020 年 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<b>1 コンピュータ内部の作業</b> .....	<b>5</b>
安全にお使いいただくために.....	5
PC 内部の作業を始める前に.....	5
コンピュータの電源を切る.....	5
PC 内部の作業を終えた後に.....	6
<b>2 分解および再アセンブリ</b> .....	<b>7</b>
推奨ツール.....	7
システムの概要.....	7
電源ユニット (PSU) の取り外し.....	7
電源ユニット (PSU) の取り付け.....	8
カバーの取り外し.....	8
カバーの取り付け.....	9
PSU カードの取り外し.....	10
PSU カードの取り付け.....	11
前面ベゼルの取り外し.....	11
前面ベゼルの取り付け.....	12
PCI カードの取り外し.....	12
PCI カードの取り付け.....	12
オプティカルドライブの取り外し.....	13
オプティカルドライブの取り付け.....	14
ハードディスクドライブの取り外し.....	15
ハードドライブの取り付け.....	16
スピーカーの取り外し.....	16
スピーカーの取り付け.....	17
サーマルセンサーの取り付け.....	17
サーマルセンサーの取り外し.....	17
入力/出力 (I/O) パネルの取り外し.....	17
入力/出力 (I/O) パネルの取り付け.....	19
エアトンネルの取り外し.....	19
エアトンネルの取り付け.....	20
メモリの取り外し.....	20
メモリの取り付け.....	20
コイン型電池の取り外し.....	21
コイン型電池の取り付け.....	21
システムファンの取り外し.....	21
システムファンの取り付け.....	25
ヒートシンクの取り外し.....	25
ヒートシンクの取り付け.....	26
ヒートシンクファンの取り外し.....	26
ヒートシンクファンの取り付け.....	27
プロセッサの取り外し.....	27
プロセッサの取り付け.....	27
システム基板の取り外し.....	28

システム基板の取り付け.....	29
システム基板コンポーネント.....	30
<b>3 追加情報.....</b>	<b>31</b>
メモリモジュールのガイドライン.....	31
電源ユニット ( PSU ) のロック.....	31
<b>4 セットアップユーティリティ.....</b>	<b>32</b>
ブート シーケンス.....	32
ナビゲーションキー.....	32
セットアップユーティリティのオプション.....	33
Windows での BIOS のアップデート.....	38
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	39
システム セットアップパスワードの割り当て.....	39
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	40
システムパスワードを無効にする.....	40
<b>5 診断.....</b>	<b>41</b>
ePSA ( 強化された起動前システムアセスメント ) 診断.....	41
<b>6 コンピュータのトラブルシューティング.....</b>	<b>42</b>
診断 LED.....	42
エラーメッセージ.....	43
<b>7 技術仕様.....</b>	<b>45</b>
<b>8 デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>51</b>

# コンピュータ内部の作業

## 安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、PC を損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- ・ PC に付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- ・ コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

**① メモ:** コンピューターのカバーまたはパネルを開ける前に、すべての電源を外してください。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。

**⚠ 警告:** PC 内部の作業を始める前に、お使いの PC に付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。その他、安全にお使いいただくためのベストプラクティスについては、[法令遵守のホームページ](#)を参照してください。

**△ 注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスおよびサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

**△ 注意:** 静電気放出による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、PC の裏面にあるコネクタに触れる際に塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

**△ 注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

**△ 注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブを引っ張り、ケーブル自身を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

**① メモ:** お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

## PC 内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. 「安全上の注意」に必ず従ってください。
2. PC のカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
3. PC の電源を切ります。
4. コンピュータからすべてのネットワーク ケーブルを外します。

**△ 注意:** ネットワーク ケーブルを外すには、まずケーブルのプラグを PC から外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

5. PC および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム ボードの静電気を除去します。


**① メモ:** 静電気放出による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、PC の裏面にあるコネクタに触れる際に塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

## コンピュータの電源を切る

## PC 内部の作業を終えた後に

取り付け手順が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルが接続されていることを確認してください。

1. 電話線、またはネットワーク ケーブルをコンピュータに接続します。

 **注意:** ネットワーク ケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

2. PC、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
3. PC の電源を入れます。
4. 必要に応じて診断ツールを実行して、PC が正しく作動することを確認します。

## 分解および再アセンブリ

### 推奨ツール

本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。

- ・ 小型のマイナスドライバ
- ・ #1 プラスドライバ
- ・ 小型のプラスチックスクライブ

### システムの概要

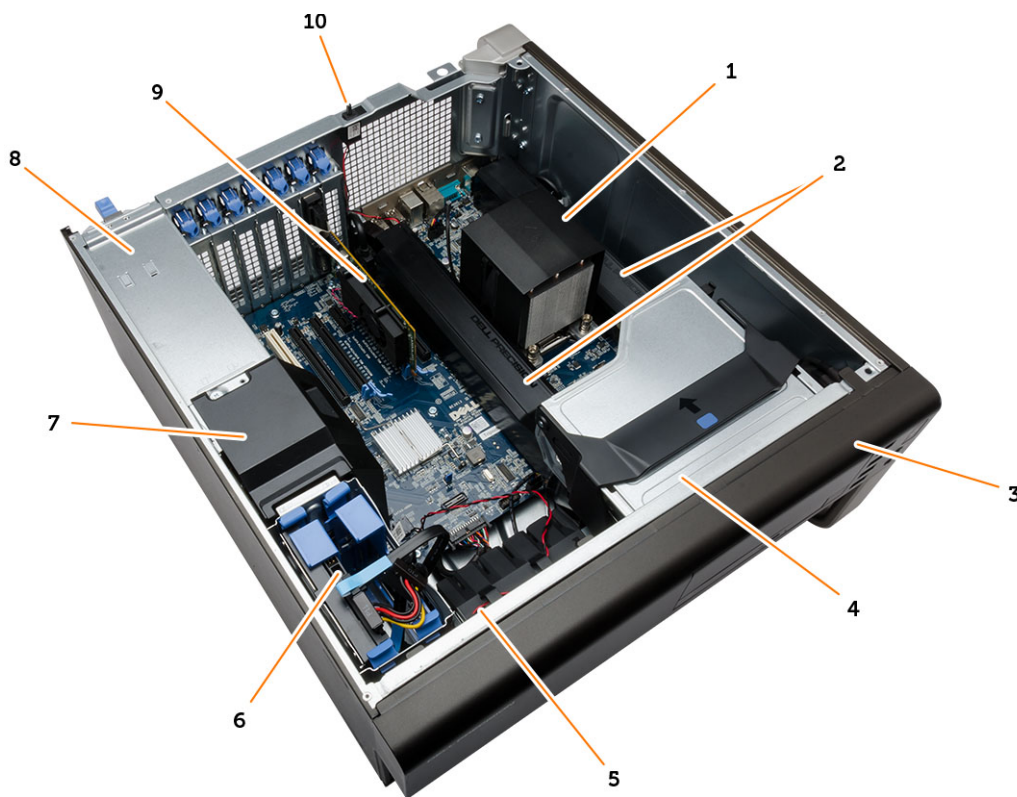
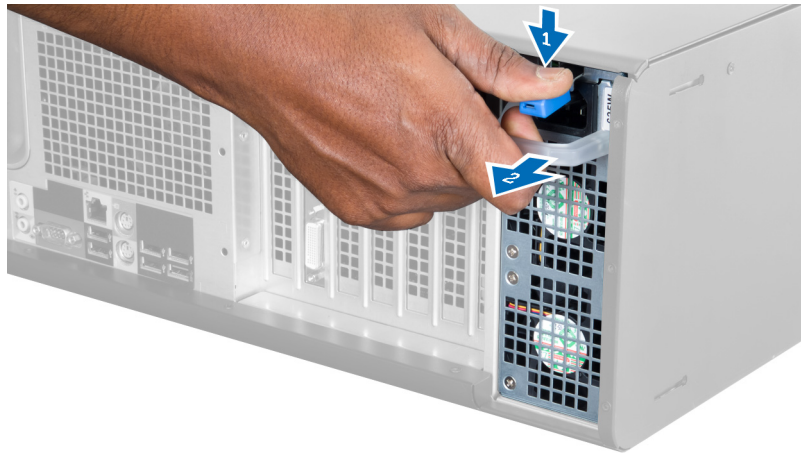


図 1. T3610 コンピュータの内面

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 統合ファン付きヒートシンク | 2. エアトンネル         |
| 3. 前面ベゼル         | 4. オプティカルドライブ     |
| 5. エアダクト         | 6. ハードドライブ        |
| 7. バッフルカバー       | 8. 電源装置ユニット (PSU) |
| 9. PCI カード       | 10. インテルージョンスイッチ  |

### 電源ユニット (PSU) の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. PSU がロックされている場合、PSU ロックスクリューを外し PSU を取り外します。詳細については、「[PSU ロック機能](#)」を参照してください。
3. ハンドルバーを持ち、青色のラッチを押し下げ PSU を取り外します。



4. ハンドルバーを持ち、PSU をコンピューターからスライドさせます。



## 電源ユニット ( PSU ) の取り付け

1. PSU ハンドルを持ち、PSU をスライドさせ、コンピューターに差し込みます。
2. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## カバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. コンピューターを横にして、ラッチが上になるように置きます。





3. カバーリリースラッチを持ち上げます。



4. カバーを45度の方向に持ち上げ、コンピュータから取り外します。



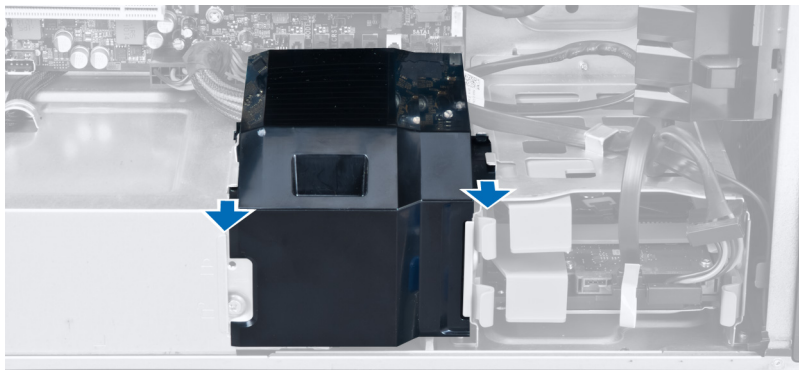
## カバーの取り付け

1. コンピューターカバーをシャーシの上にセットします。

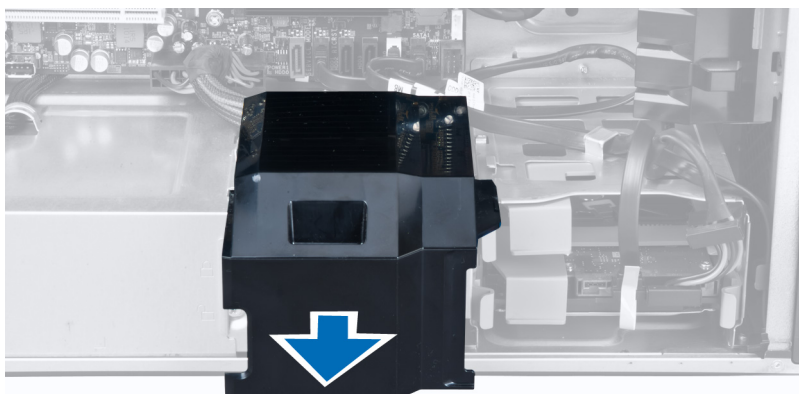
2. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、コンピューターカバーを押し下げます。
3. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

## PSU カードの取り外し

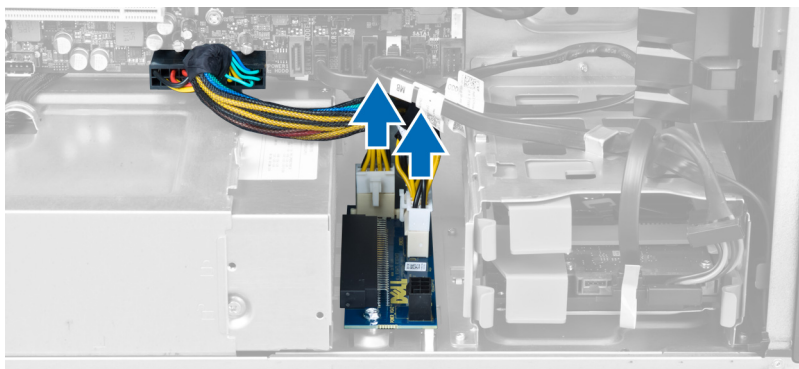
1. 「コンピューターの作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. バッフルカバーをスロットから前面に向けてスライドさせます。



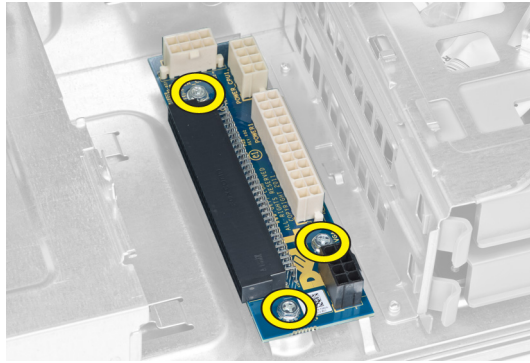
4. バッフルカバーをコンピュータから取り外します。



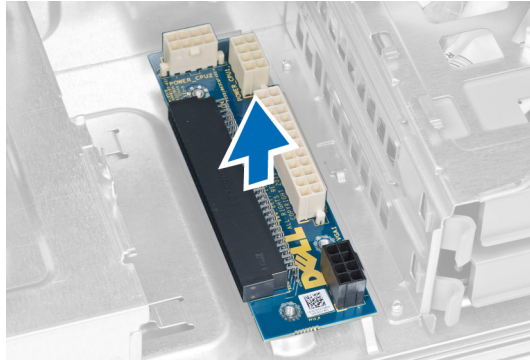
5. 電源ケーブルをシステム基板から外します。



6. PSU カードをスロットに固定するネジを取り外します。



7. PSU カードをコンピュータから取り外します。

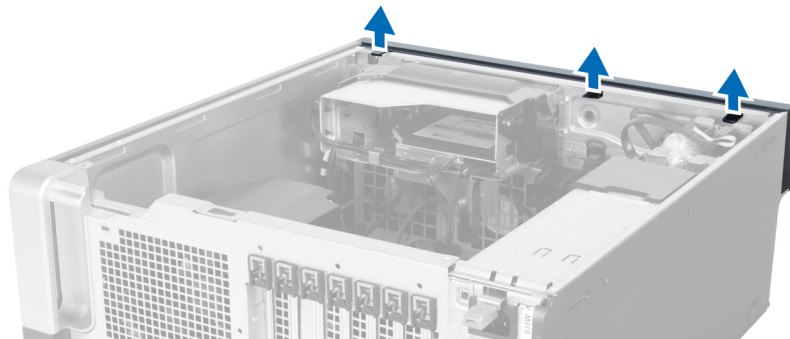


## PSU カードの取り付け

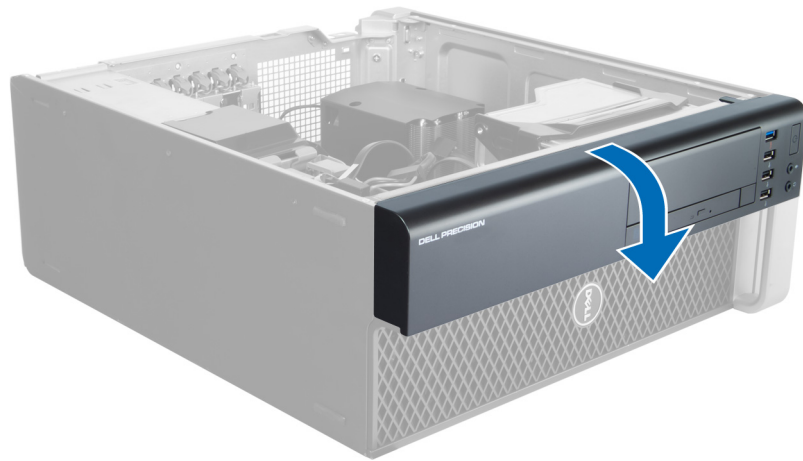
1. PSU カードをスロットに取り付けます。
2. ネジを締めて PSU カードをスロットに固定します。
3. 電源ケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. バッフルカバーをスロットに取り付けます。
5. カバーを取り付けます。
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## 前面ベゼルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. 前面ベゼルの端にあるシャーシから、前面ベゼルの固定クリップをゆっくりと取り外します。



4. ベゼルパネルをコンピュータから外す方向に回転させて引き出し、ベゼルのもう一方の端にあるフックをシャーシから外します。

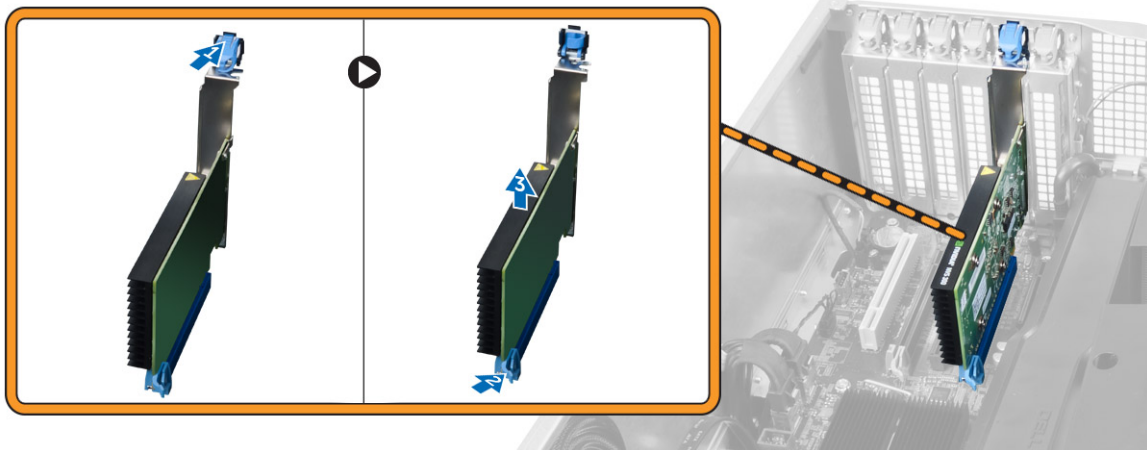


## 前面ベゼルの取り付け

1. 前面パネルの下端に沿ってフックをシャーシ前面のスロットに差し込みます。
2. ベゼルをコンピューターに向かって回転させ、カチッと所定の位置に収まるまで、前面ベゼル固定クリップを固定させます。
3. カバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

## PCI カードの取り外し

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 左側カバーを取り外します。
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a) PCI カードをスロット内に取り付けるプラスチック ラッチを開きます [1]。
  - b) ラッチを押し下げ、PCI カードを PC から引き出します [2、3]。

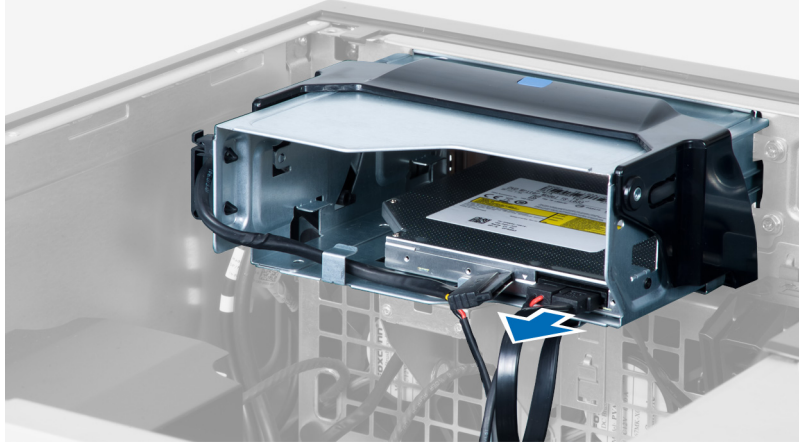


## PCI カードの取り付け

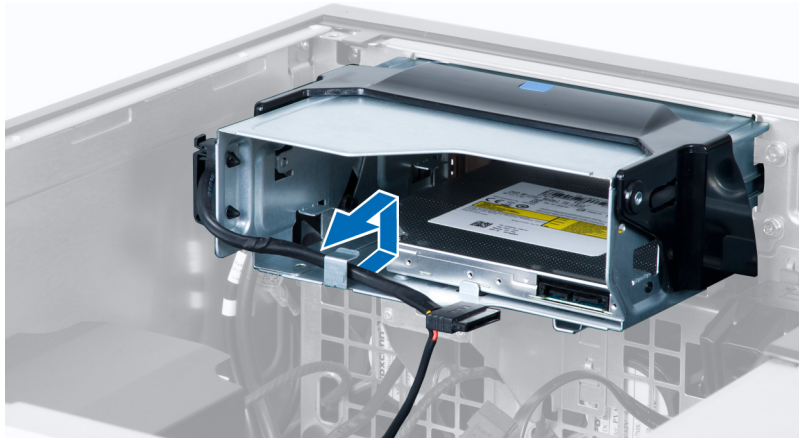
1. 拡張カードをカードスロットに挿入し、ラッチを固定します。
2. PCI カードをカードスロットに固定するプラスチックラッチを取り付けます。
3. 左側カバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

# オプティカルドライブの取り外し

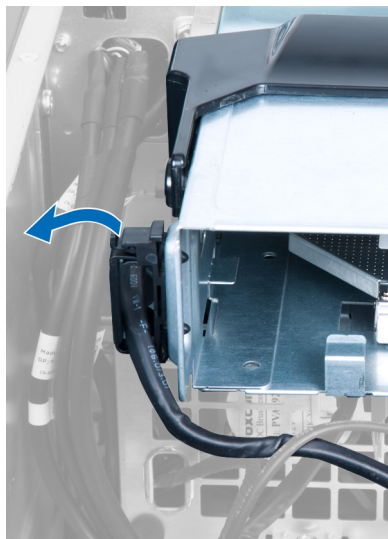
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. オプティカルドライブからデータと電源ケーブルを外します。



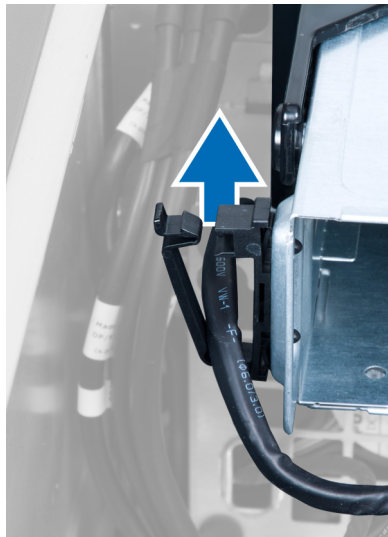
4. ケーブルをラッチから引き抜きます。



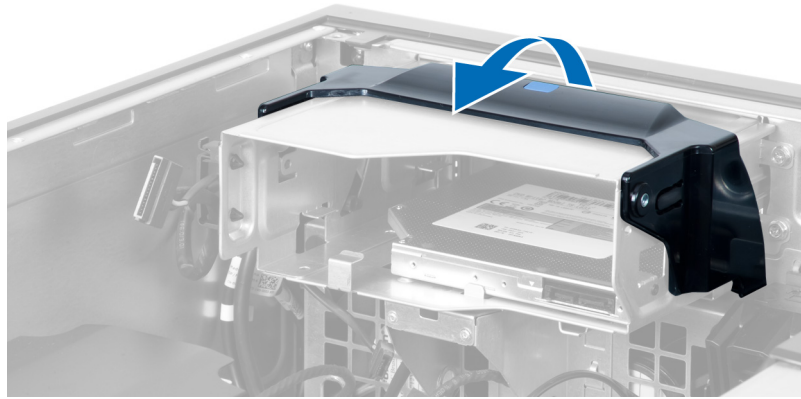
5. 留め金を押し下げ、オプティカルケースの側にあるケーブルを固定しているラッチを取り外します。



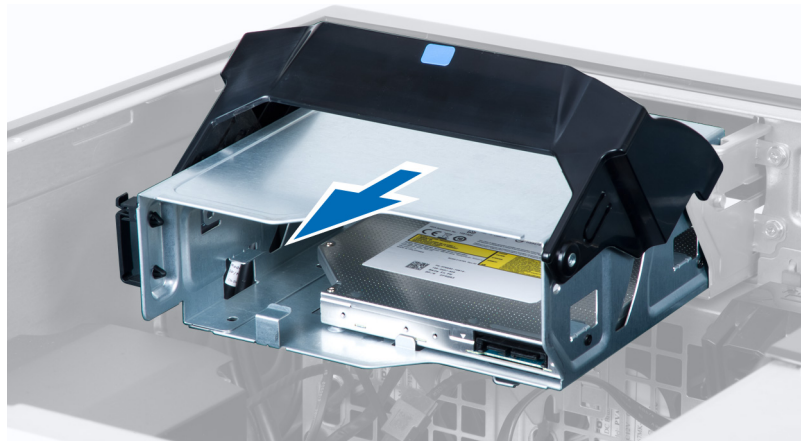
6. ラッチを押し下げ、ケーブルを持ち上げます。



7. オプティカルドライブケースの上部のリリースラッチを持ち上げます。



8. リリースラッチを持ち、オプティカルドライブケースをオプティカルドライブコンパートメントからスライドさせます。



## オプティカルドライブの取り付け

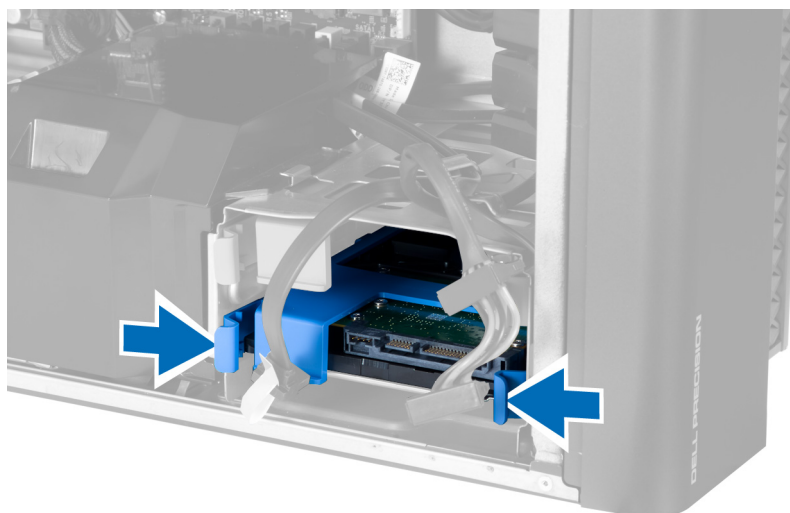
1. リリースラッチを持ち上げ、オプティカルドライブケースをコンパートメントの内部にスライドさせます。
2. 留め金を押し、ラッチを外しケーブルをホルダーに取り付けます。
3. オプティカルドライブの背面に電源ケーブルを接続します。
4. オプティカルドライブの背面にデータケーブルを接続します。
5. カバーを取り付けます。
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## ハードディスクドライブの取り外し

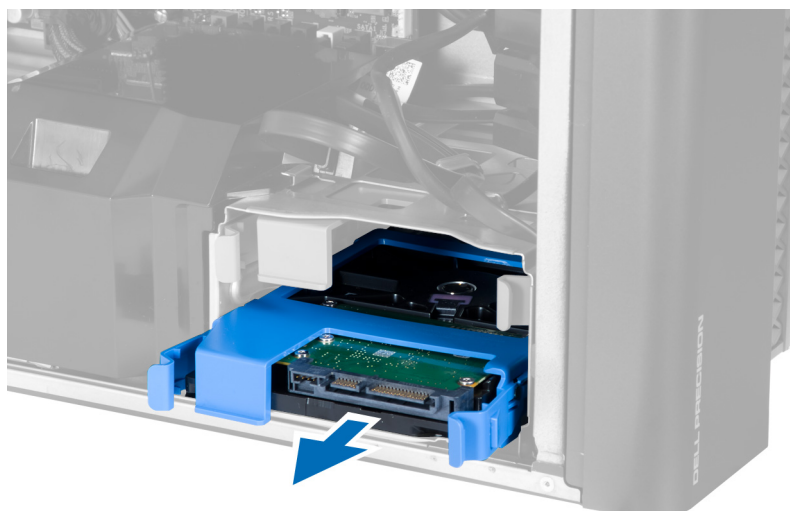
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. 電源ケーブルとデータケーブルをハードドライブから外します。



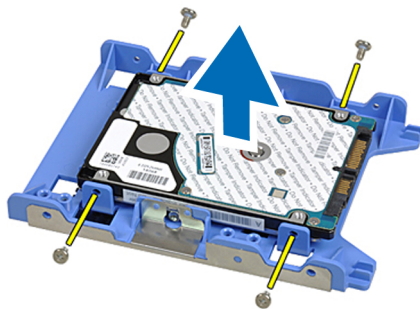
4. ハードドライブブラケットの両側のラッチを押さえます。



5. ハードドライブをコンパートメントからスライドして取り出します。



6. 2.5インチハードドライブが取り付けられている場合、ネジを外しドライブを持ち上げて、ハードドライブキャディから取り外します。

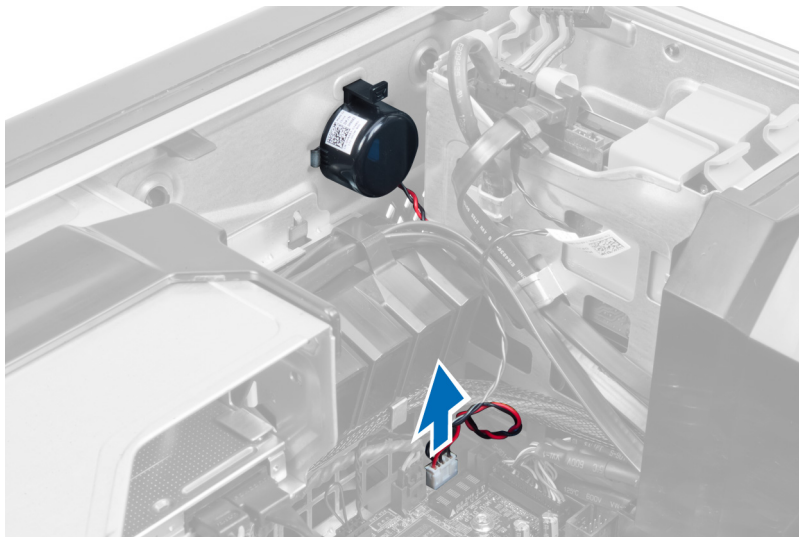


## ハードドライブの取り付け

1. 2.5-インチハードドライブがコンピュータに取り付けられている場合は、ハードドライブをハードドライブキャディに置き、ネジを締めて固定します。
2. ハードドライブケースのラッチを押さえ、コンパートメントの内部にスライドさせます。
3. ハードドライブ電源ケーブルを接続します。
4. ハードドライブデータケーブルを接続します。
5. カバーを取り付けます。
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

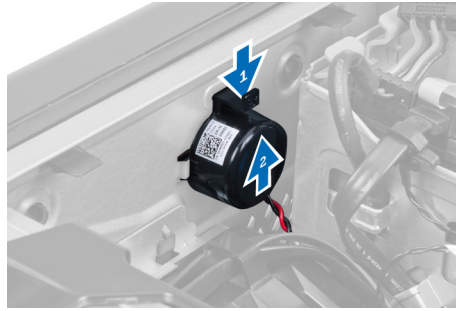
## スピーカーの取り外し

1. 「コンピュータの作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. スピーカーケーブルをシステム基板から外します。



4. 留め金を押し下げ、スピーカーを持ち上げて、取り外します。





## スピーカーの取り付け

1. スピーカーを取り付け、留め金を固定します。
2. システム基板にスピーカーケーブルを接続します。
3. カバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## サーマルセンサーの取り付け

① **メモ:** サーマルセンサーはオプションのコンポーネントですので、お使いのコンピューターに同梱されていない場合があります。

1. サーマルセンサーをスロットに取り付け、コンピューターに固定するラッチを締めます。
2. カバーを取り付けます。
3. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## サーマルセンサーの取り外し

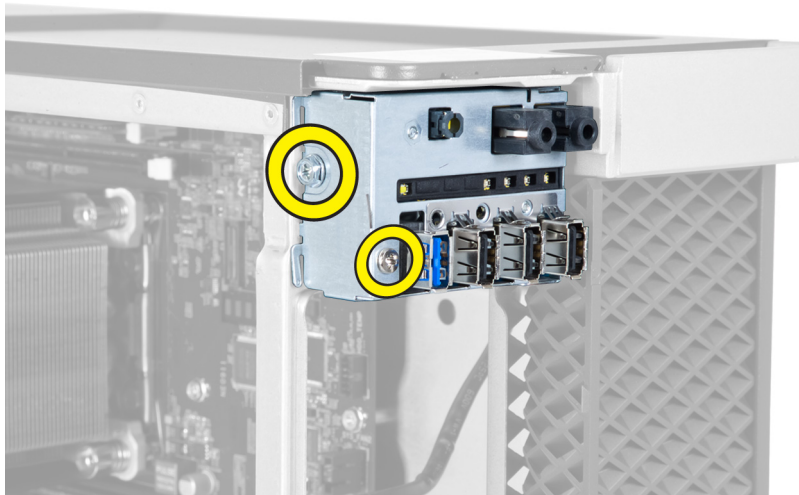
① **メモ:** サーマルセンサーはオプションのコンポーネントですので、お使いのコンピューターに同梱されていない場合があります。

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. サーマルセンサーを固定しているラッチを開き、コンピューターから取り外します。

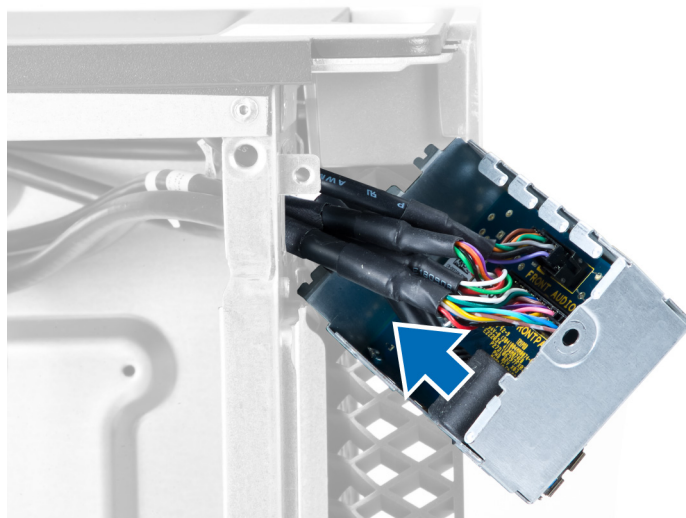


## 入力/出力 (I/O) パネルの取り外し

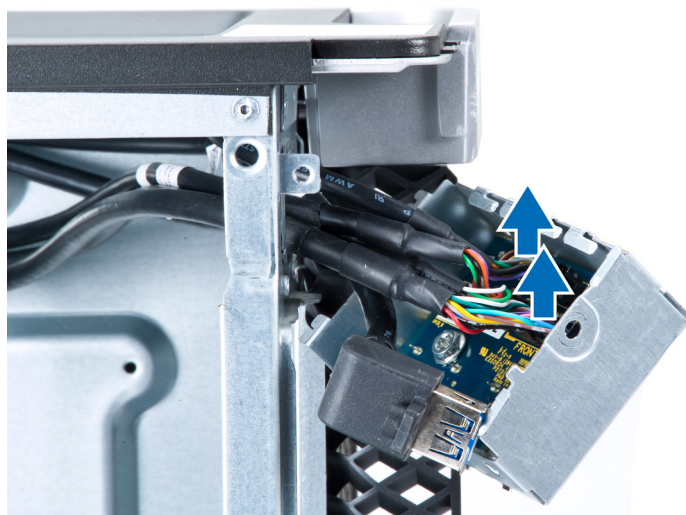
1. 「コンピューターの作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) 前面ベゼル
3. USB 3.0 モジュールを I/O パネルに固定しているネジを外します。



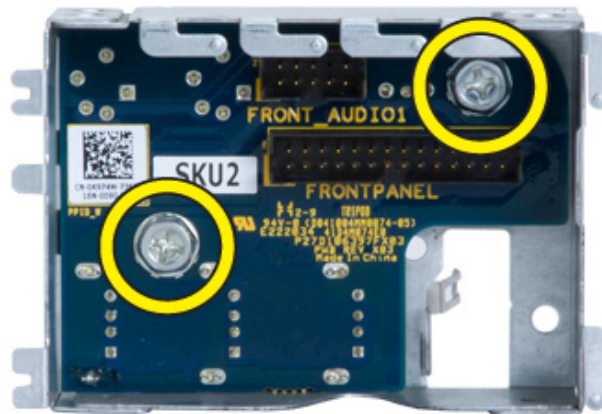
4. USB 3.0 モジュールをシャーシから取り外します。



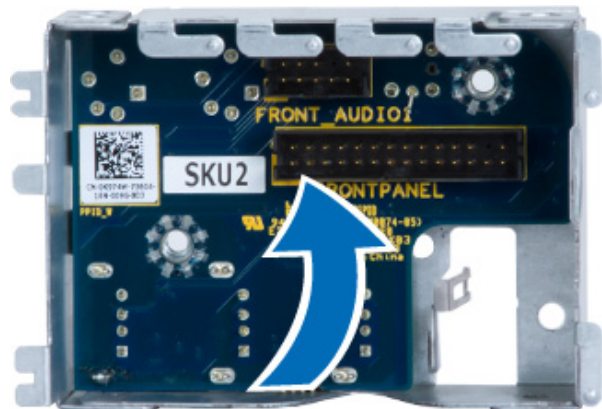
5. ケーブルを外し、I/O パネルを取り外します。



6. I/O パネルをシャーシに固定しているネジを外します。



7. I/O パネルをシャーシから取り外します。



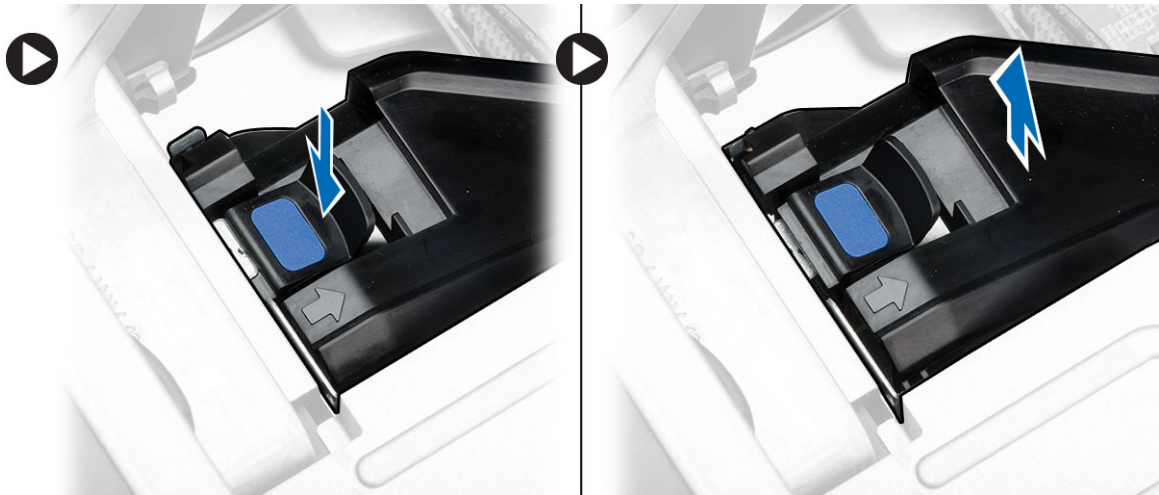
## 入力/出力 (I/O) パネルの取り付け

1. I/O パネルをスロットに取り付けます。
2. I/O パネルをシャーシに固定しているネジを締めます。
3. ケーブルを I/O パネルに取り付けます。
4. USB 3.0 モジュールをスロットにスライドさせます。
5. USB 3.0 モジュールを I/O パネルに固定しているネジを締めます。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) 前面ベゼル
  - b) カバー
7. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## エアートネルの取り外し

**メモ:** エアートネルはオプションのコンポーネントであるため、お使いのコンピュータには同梱されていません。

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) オプティカルドライブ
3. 青色の固定タブを押し下げて、エアートネルモジュールを上方に持ち上げます。



4. 手順3を繰り返して2つ目のエアートンネルモジュールをコンピュータから取り外します。

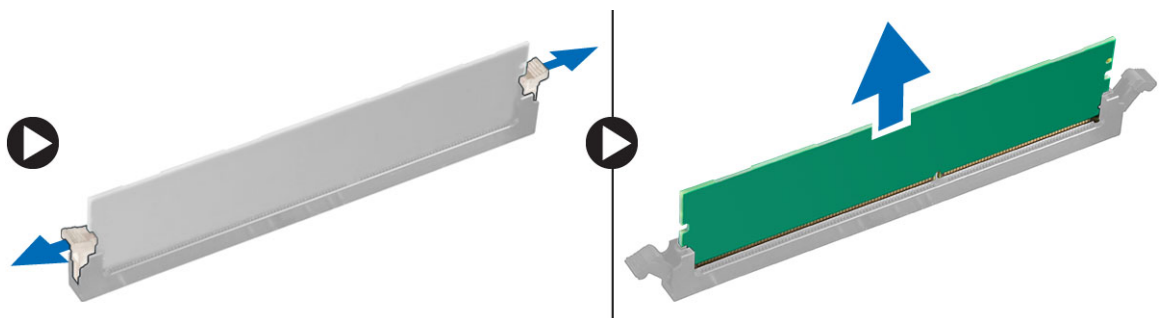
## エアートンネルの取り付け

①メモ: エアートンネルはオプションのコンポーネントであるため、お使いのコンピュータには同梱されていません。

1. エアートンネルベースをコンピュータのシャーシ内に取り付けます。
2. エアートンネルモジュールをベースに取り付け、カチッと音がして所定の位置に収まるまで押し下げます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) オプティカルドライブ
  - b) カバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## メモリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) エアートンネル (使用可能な場合)
3. メモリモジュールの両側にあるメモリ固定クリップを押し下げ、メモリモジュールを持ち上げてコンピュータから取り外します。



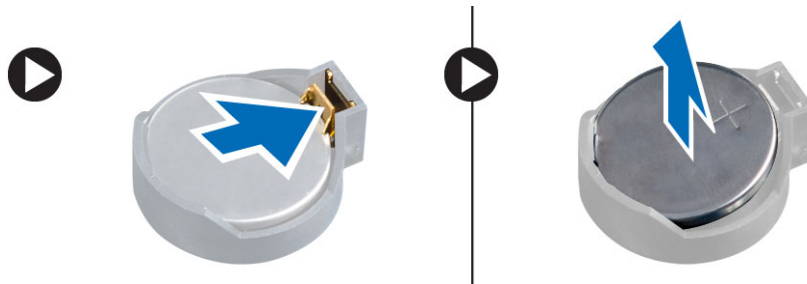
## メモリの取り付け

1. メモリモジュールをメモリソケットに差し込みます。
2. メモリが固定クリップで所定の位置に固定されるまで、メモリモジュールを押し下げます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) エアートンネル (使用可能な場合)
  - b) カバー

4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## コイン型電池の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) エアートンネル (使用可能な場合)
3. ソケットからバッテリーが飛び出すようにバッテリーからリリースラッチを押します。コイン型電池をコンピュータから持ち上げます。



## コイン型電池の取り付け

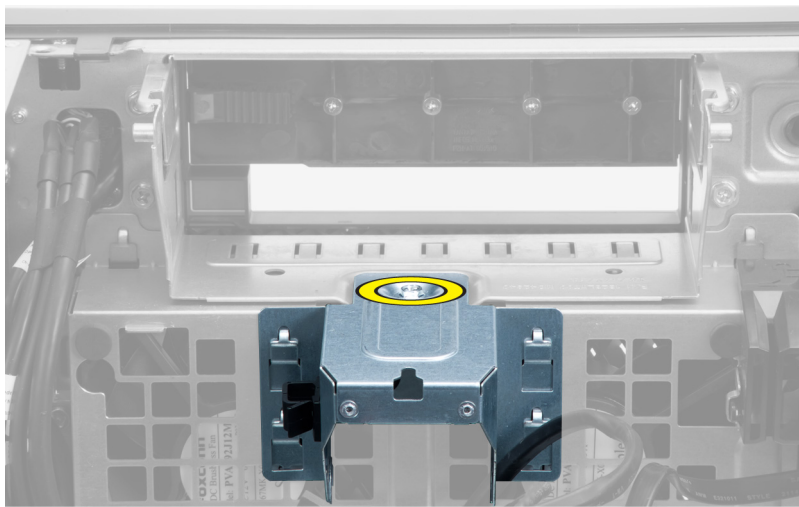
1. システム基板のスロットにコイン型電池をセットします。
2. リリースラッチのバネが所定の位置に戻るまで、コイン型電池を押し下げて固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) カバー
  - b) エアートンネル (使用可能な場合)
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## システムファンの取り外し

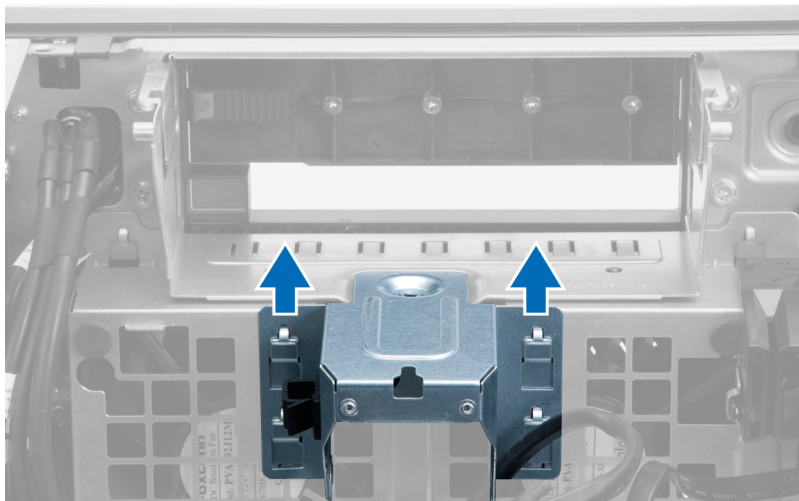
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) インテルージョンスイッチ
  - c) PCI カード
  - d) ハードドライブ
  - e) オプティカルドライブ
3. システム基板ケーブルをラッチから外します。



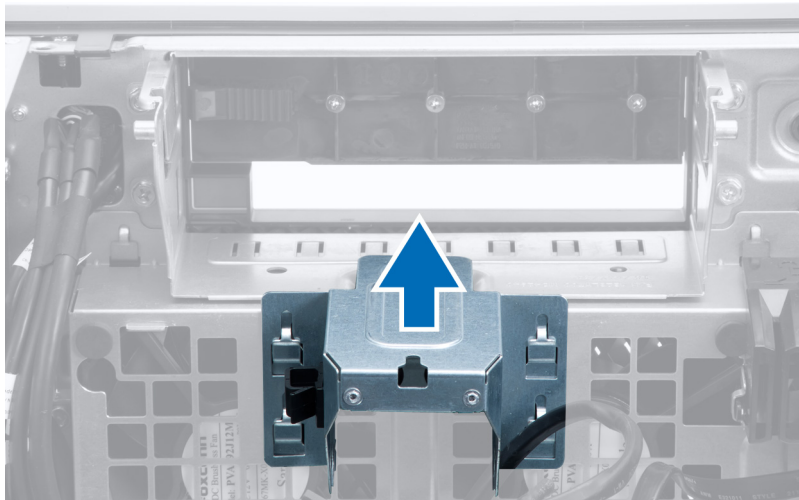
4. システムファンに金属プレートを固定しているネジを外します。



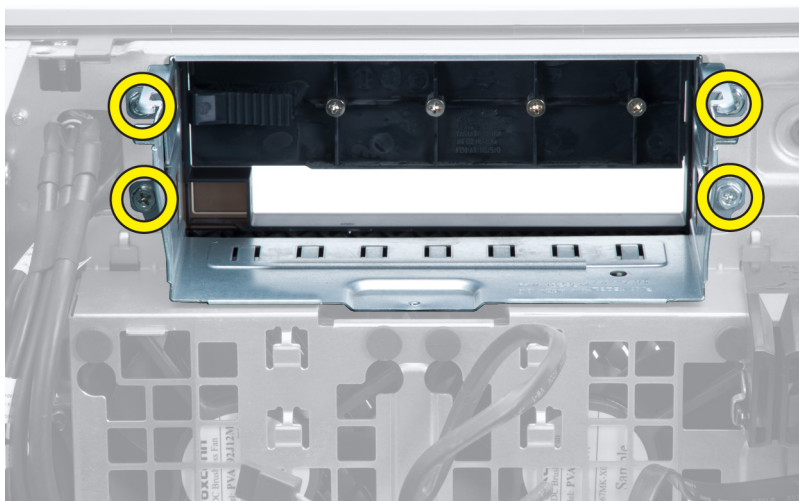
5. 金属プレート両端のいずれかのラッチを押して、取り出します。



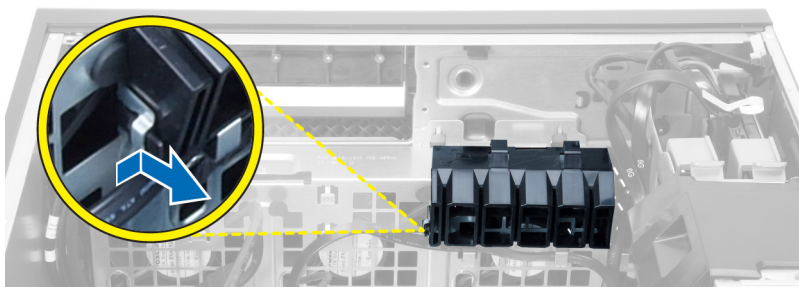
6. シャーシから金属板を持ち上げて外します。



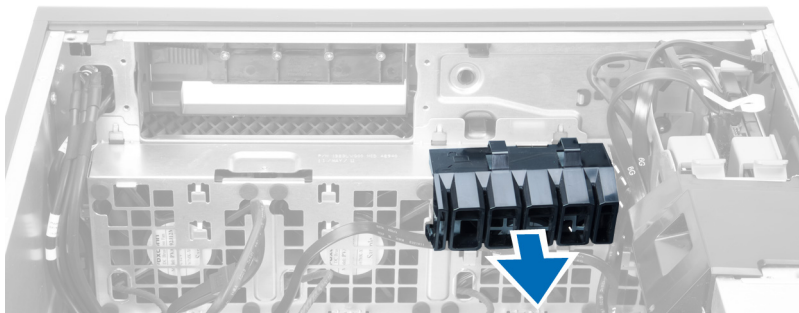
7. ドライブベイを固定しているネジを外します。



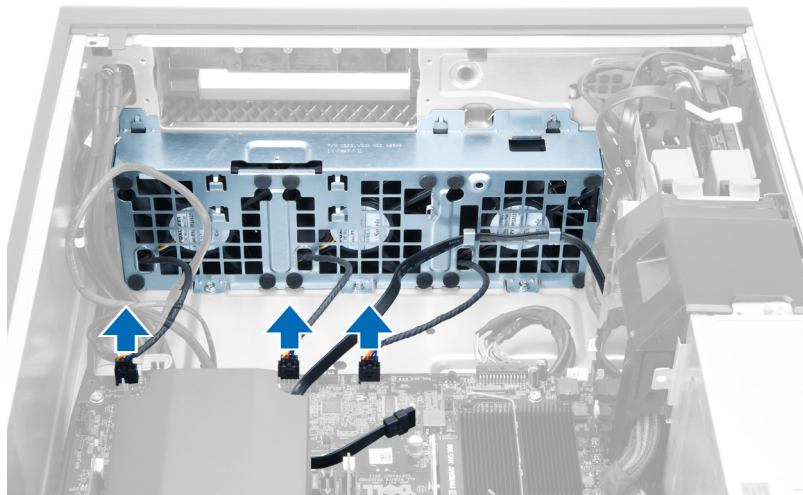
8. ラッチを引き出し、エアバッフルを取り出します。



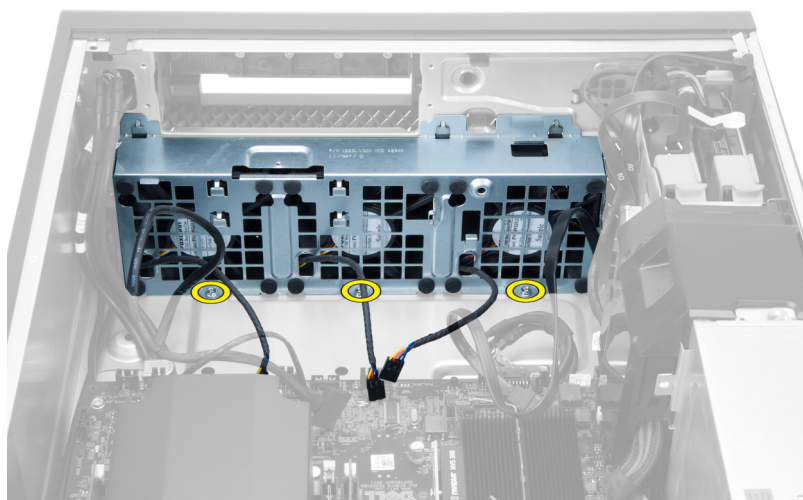
9. エアバッフルをコンピュータから取り外します。



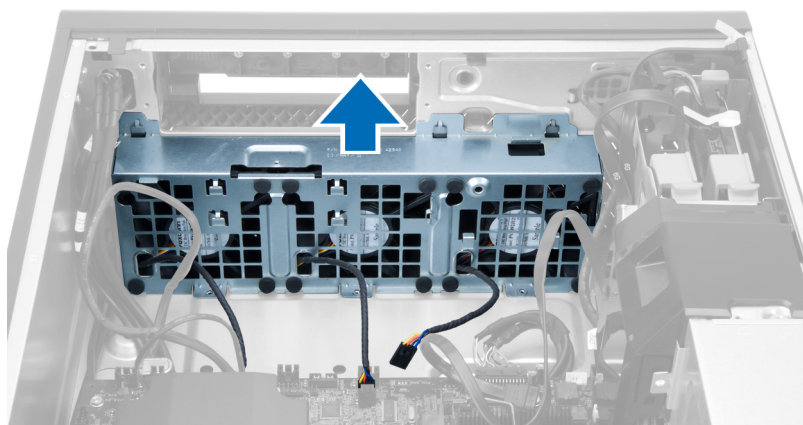
10. システムファンケーブルをシステム基板から外します。



11. システムファンアセンブリをシャーシに固定しているネジを外します。

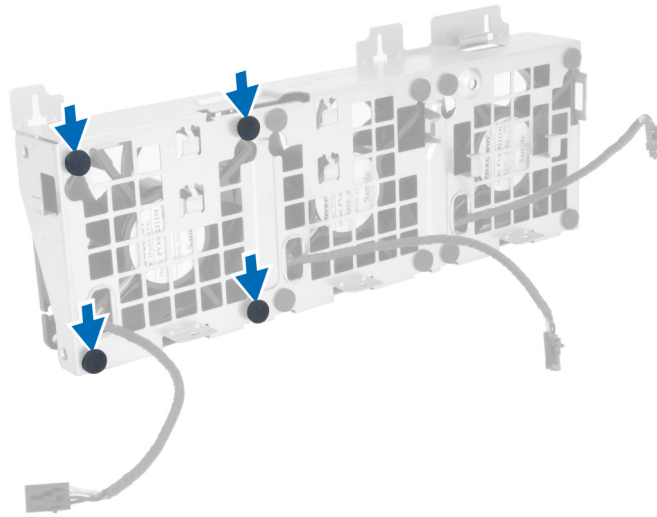


12. システムファンアセンブリをシャーシから持ち上げます。



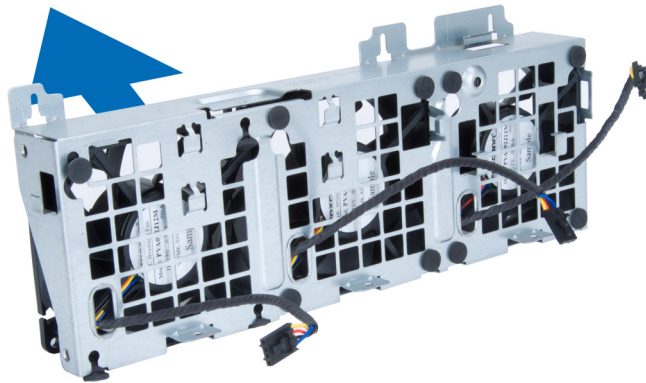
13. ハトメを引き出し、システムファンアセンブリからシステムファンを取り外します。





**△注意:** 力を加えすぎると、ハトメが損傷する恐れがあります。

14. システムファンアセンブリからシステムファンを取り外します。



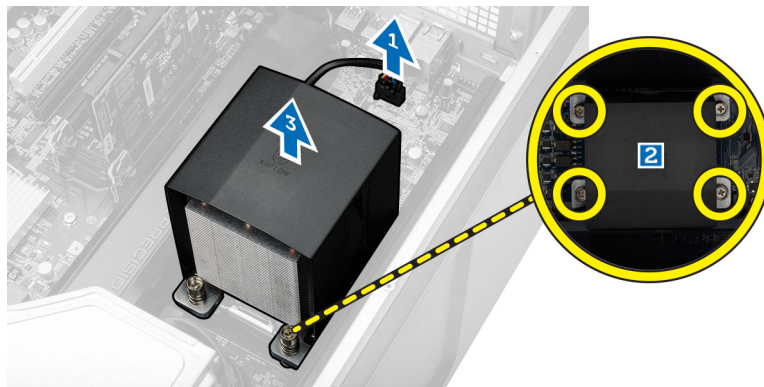
## システムファンの取り付け

1. ファンをファンアセンブリ内に置き、ハトメを装着します。
2. ファンアセンブリをシャーシ内に置きます。
3. ファンアセンブリをシャーシに固定するネジを取り付けます。
4. システムファンケーブルをシステム基板上的コネクタに接続します。
5. システムファンケーブルをシステムファンモジュールの穴から外側に出し、システム基板の方向に配線します。
6. エアバッフルをコンピュータのスロット内に置き、ラッチを差し込みます。
7. ドライブベイを固定するネジを取り付けます。
8. 金属プレートを置き、金属プレートシステムファンに固定するネジを取り付けます。
9. システム基板ケーブルをコネクタに配線して接続します。
10. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) オプティカルドライブ
  - b) ハードドライブ
  - c) PCI カード
  - d) インテルージョンスイッチ
  - e) カバー
11. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## ヒートシンクの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。

2. カバーを取り外します。
3. 次の手順を実行します。
  - a) ヒートシンクケーブルをシステム基板から外します [1]。
  - b) ヒートシンクを固定しているネジを緩めます [2]。
  - c) ヒートシンクを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。

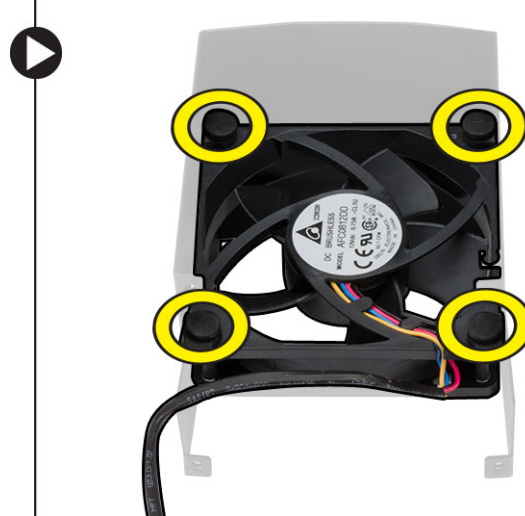
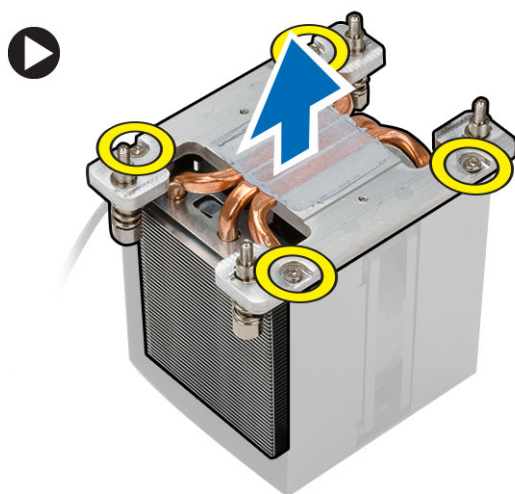


## ヒートシンクの取り付け

1. ヒートシンクをコンピュータ内部にセットします。
2. 拘束ネジを締めてヒートシンクをシステム基板に固定します。
3. ヒートシンクケーブルをシステム基板に接続します。
4. カバーを取り付けます。
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## ヒートシンクファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) ヒートシンク
3. 次の手順を実行します。
  - a) ヒートシンクファンをアセンブリに固定しているネジを外します。
  - b) ハトメを外に向けて押し、ヒートシンクファンをアセンブリから外します。
  - c) ヒートシンクファンをヒートシンクアセンブリから取り外します。

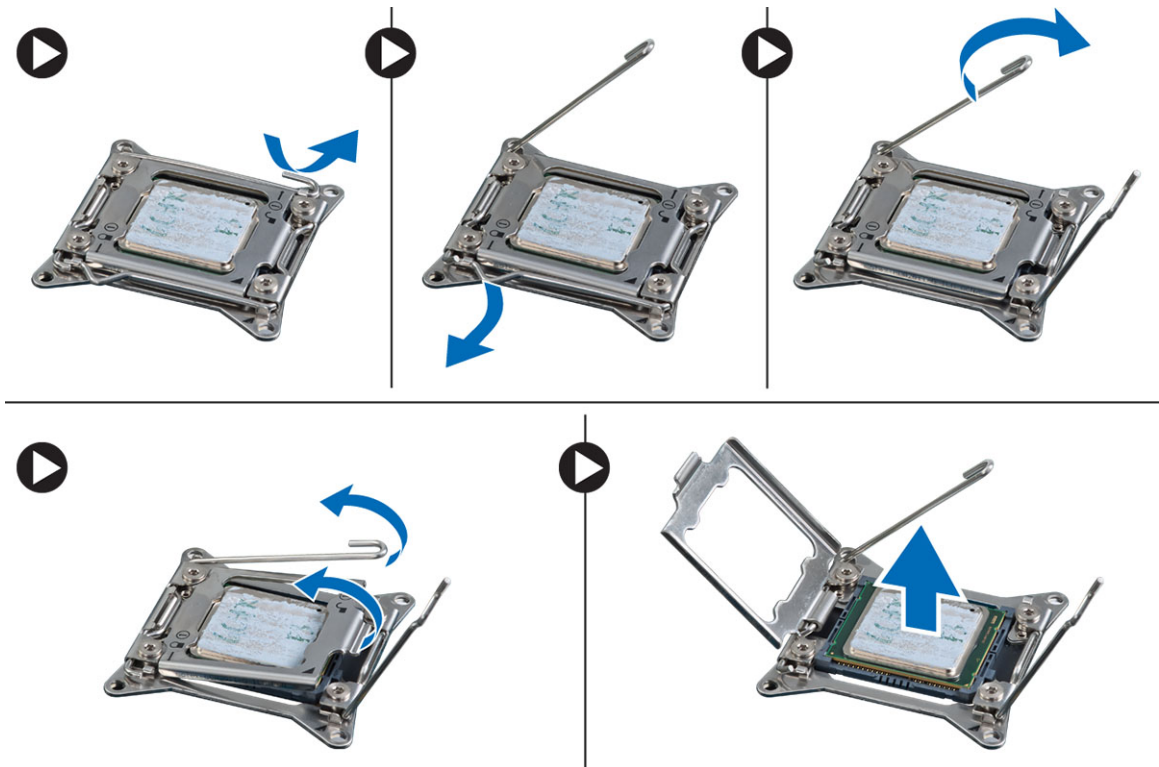


## ヒートシンクファンの取り付け

1. ヒートシンクファンをヒートシンクアセンブリスライドさせます。
2. ハトメを取り付けヒートシンクファンをヒートシンクアセンブリに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) ヒートシンク
  - b) カバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## プロセッサの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a) カバー
  - b) エアトンネル (使用可能な場合)
  - c) ヒートシンク
3. プロセッサを取り外すには：
  - ①メモ:** プロセッサカバーは2つのレバーで固定されています。どちらのレバーを先に開きどちらのレバーが先に閉じるか必要があるかを示したアイコンがあります。
  - a) プロセッサカバーを保持している最初のレバーを所定位置まで押し下げ、その固定フックから横へ外します。
  - b) 手順「a」を繰り返し、2つ目のレバーをその固定フックから外します。
  - c) プロセッサカバーを持ち上げて取り外します。
  - d) プロセッサを持ち上げてソケットから取り外し、静電防止パッケージに入れます。



4. 上記の手順を繰り返し、2つ目のプロセッサ (あれば) をコンピュータから取り外します。  
お使いのコンピュータにデュアルプロセッサスロットがあるかどうか確認するには、システム基板コンポーネントを参照してください。

## プロセッサの取り付け

1. プロセッサをソケットにセットします。

2. プロセッサカバーを取り付けます。

**i** **メモ:** プロセッサカバーは2つのレバーで固定されています。どちらのレバーを先に開きどちらのレバーが先に閉じるか必要があるかを示したアイコンがあります。

3. 最初のレバーを横方向へ固定フックにスライドさせ、プロセッサを固定します。

4. 手順「3」を繰り返し、2つ目のレバーを固定フックにスライドさせます。

5. 次のコンポーネントを取り付けます。

- a) ヒートシンク
- b) エアートンネル (使用可能な場合)
- c) カバー

6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

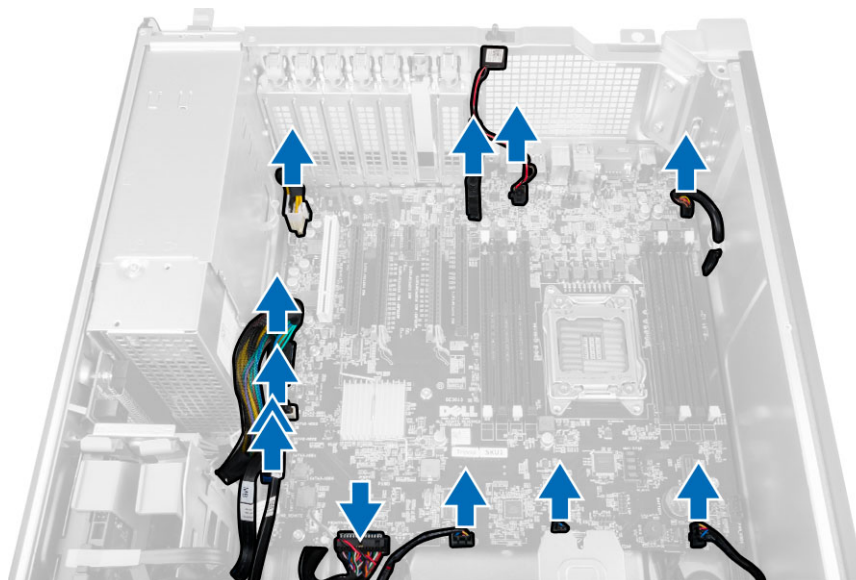
## システム基板の取り外し

1. 「コンピュータの作業を始める前に」の手順に従います。

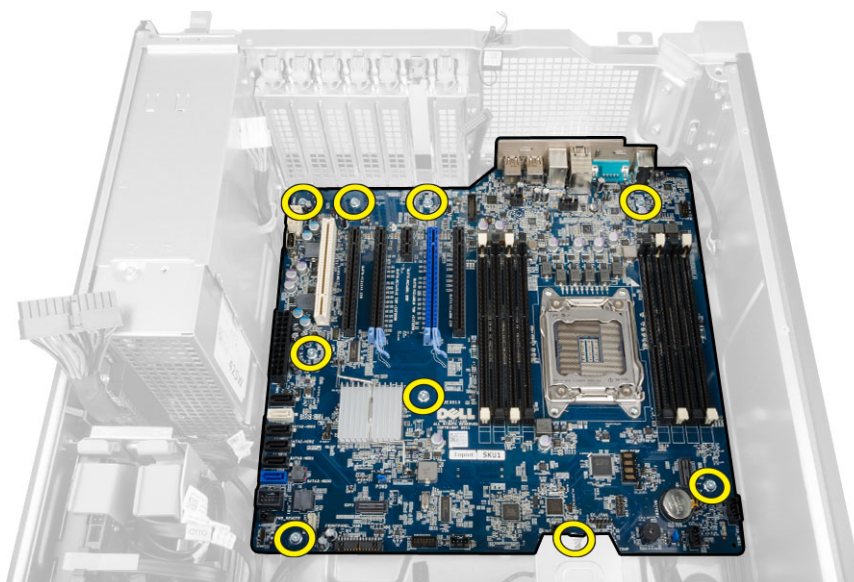
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a) PSU
- b) カバー
- c) オプティカルドライブ
- d) コイン型電池
- e) サーマルセンサー
- f) ハードドライブ
- g) システムファン
- h) PSU カード
- i) PCI カード
- j) I/O パネル
- k) スピーカー
- l) ヒートシンク
- m) ヒートシンクファン
- n) メモリモジュール
- o) プロセッサ

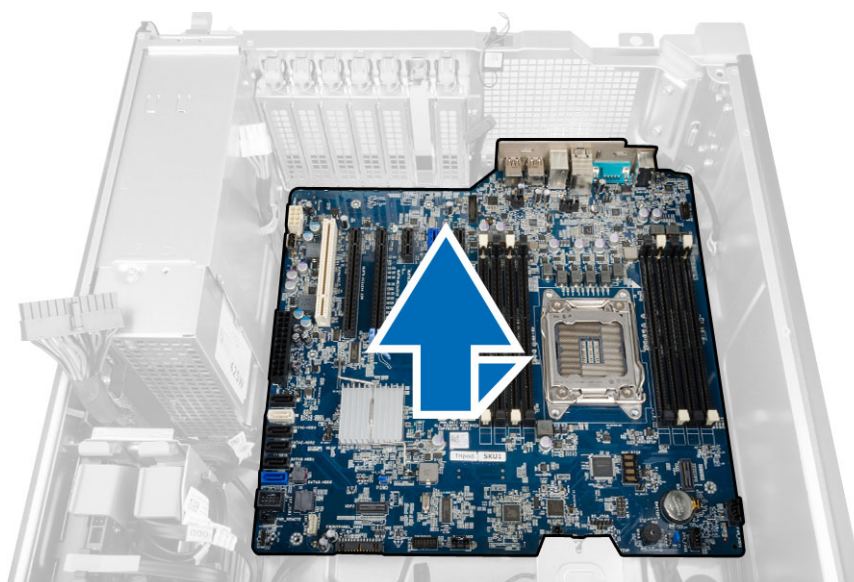
3. システム基板からケーブルをすべて外します。



4. システム基板をシャーシに固定しているネジを外します。



5. システム基板を上に向けて持ち上げて、コンピュータから取り外します。



## システム基板の取り付け

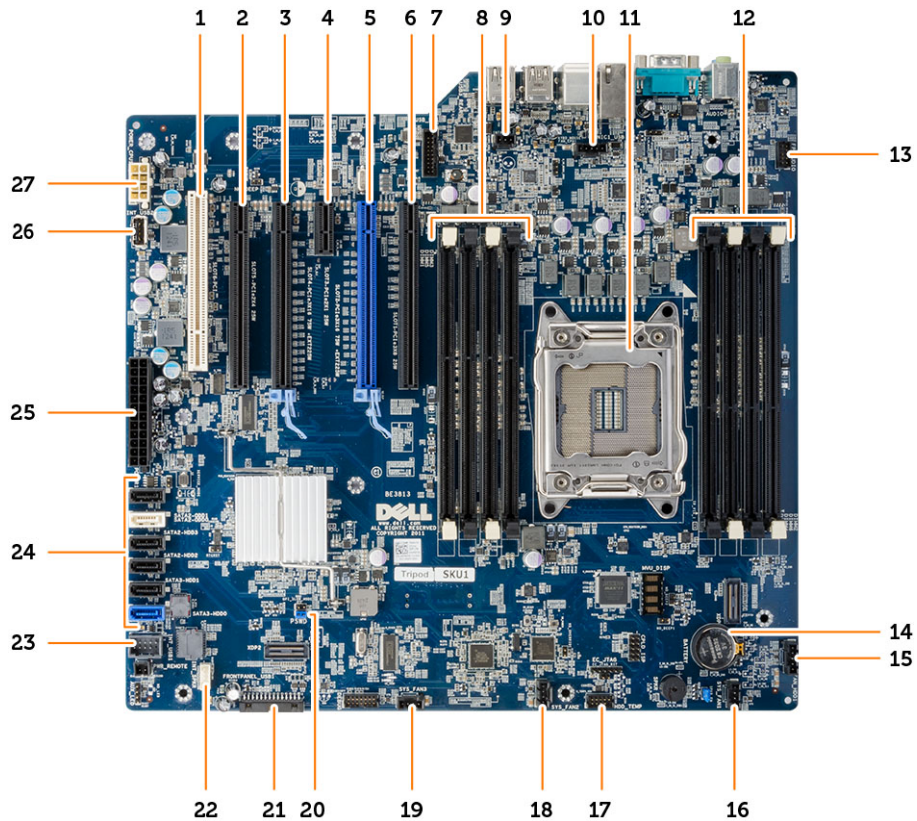
1. システム基板とシャーシ背面のポートコネクタの位置を合わせ、システム基板をシャーシにセットします。
2. システム基板をシャーシに固定するネジを締めます。
3. システム基板にケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a) プロセッサ
  - b) メモリモジュール
  - c) コイン型電池
  - d) ヒートシンクファン
  - e) ヒートシンク
  - f) スピーカ
  - g) I/O パネル
  - h) PCI カード
  - i) PSU カード
  - j) システムファン
  - k) ハードドライブ
  - l) オプティカルドライブ

- m) サーマルセンサー
- n) カバー
- o) 電源装置ユニット ( PSU )

5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

## システム基板コンポーネント

以下の画像はシステム基板コンポーネントを示したものです。



- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. PCI スロット ( スロット 6 )</li> <li>3. PCIe 3.0 x16 スロット ( スロット 4 )</li> <li>5. PCIe 3.0 x16 スロット ( スロット 2 )</li> <li>7. USB 3.0 前面パネルコネクタ</li> <li>9. インテルジョンスイッチコネクタ</li> <li>11. プロセッサソケット</li> <li>13. 前面パネルオーディオコネクタ</li> <li>15. ハードドライブファンコネクタ</li> <li>17. HDD 温度センサーコネクタ</li> <li>19. システムファンコネクタ</li> <li>21. 前面パネルと USB 2.0 コネクタ</li> <li>23. フレックスペイ用内蔵 USB 2.0 コネクタ</li> <li>25. 24 ピンシステム電源コネクタ</li> <li>27. 8 ピン CPU 電源コネクタ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>2. PCIe x16 スロット ( PCIe 2.0 有線 x4 ) ( スロット 5 )</li> <li>4. PCIe 2.0 x1 スロット ( スロット 3 )</li> <li>6. PCIe x16 スロット ( PCIe 3.0 有線 x8 ) ( スロット 1 )</li> <li>8. DIMM スロット</li> <li>10. プロセッサファンコネクタ</li> <li>12. DIMM スロット</li> <li>14. コイン型電池</li> <li>16. システムファンコネクタ</li> <li>18. システムファンコネクタ</li> <li>20. パスワードジャンパ</li> <li>22. 内蔵スピーカコネクタ</li> <li>24. SATA コネクタ ( HDD0-HDD3 &amp; SATA0-1 )</li> <li>26. 内蔵 USB 2.0 コネクタ</li> </ul> |
|--|--|

## メモリモジュールのガイドライン

お使いのコンピューターの最適なパフォーマンスを実現するには、システムメモリを構成する際に以下の一般的なガイドラインに従ってください。

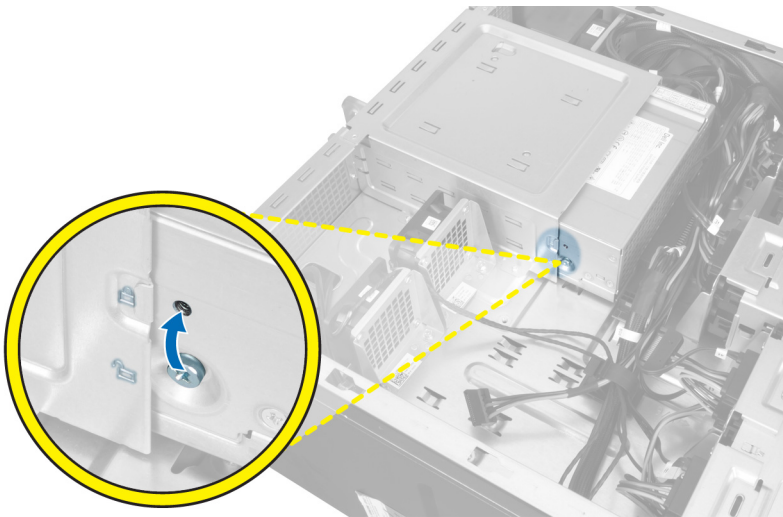
- 異なるサイズのメモリモジュール（たとえば 2 GB と 4 GB）を混在させることはできますが、メモリモジュールを装着するチャネルはすべて同一の構成にする必要があります。
- メモリモジュールは最初のソケットから取り付ける必要があります。
  - メモ:** お使いのコンピューターのメモリスロットはハードウェアの構成により異なる形式でラベル付けすることができます。例えば、A1、A2 または 1、2、3 です。
- クアドランクのメモリモジュールをシングルまたはデュアルランクのモジュールと混在させる場合、クアドランクのモジュールは白色のリリースレバーが付いたソケットに取り付ける必要があります。
- 速度の異なるメモリモジュールを取り付けた場合は、取り付けられているメモリモジュールの中で最も遅いものの速度で動作します。

## 電源ユニット ( PSU ) のロック

PSU ロックでは、PSU のシャーシからの取り外しを防止することができます。

- メモ:** PSU をロックまたはロック解除するには、シャーシのカバーが取り外されていることを常に確認してください。エアートンネル（使用可能な場合）の取り外しについての詳細は、「エアートンネル（使用可能な場合）の取り外し」を参照してください。

PSU を固定するには、ネジロック解除位置からネジを外し、ネジをロック位置に固定します。同様に、PSU をロック解除するには、ネジロック位置からネジを外し、ネジをネジロック解除位置に固定します。



# セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、ハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ・ ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- ・ システムハードウェアの構成を表示する。
- ・ 内蔵デバイスの有効/無効を切り替える。
- ・ パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- ・ コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- ・ ブート シーケンス
- ・ ナビゲーションキー
- ・ セットアップユーティリティのオプション
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード

## ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例：光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- ・ F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- ・ F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ
  - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ (利用可能な場合)
- ・ SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- ・ 診断
  - ① **メモ:** 診断を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## ナビゲーションキー

① **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。



## キー ナビゲーション

<Esc> メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

# セットアップユーティリティのオプション

**メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに記載されている項目の一部が表示されない場合があります。

表 1. 一般

オプション	説明
システム基板	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>System Information</li><li>メモリ構成</li><li>PCI Information (PCI 情報)</li><li>プロセッサ情報</li><li>Device Information (デバイス情報)</li></ul>
Boot Sequence	コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>Diskette Drive (ディスクетトドライブ)</li><li>Internal HDD</li><li>USB Storage Device (USB ストレージデバイス)</li><li>CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ)</li><li>Onboard NIC (オンボード NIC)</li><li>SATA</li></ul>
Boot List Option	起動リストオプションを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"><li>Legacy (レガシー)</li><li>UEFI</li></ul>
Advanced Boot Options	レガシーオプション ROM を有効にできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>無効</li><li>有効 (デフォルト)</li></ul>
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システムの日時変更はすぐに反映されます。

表 2. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
Integrated NIC	統合ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"><li>無効</li><li><b>メモ:</b> Active Management Technology (AMT) オプションが無効な場合に限り、無効なオプションを使用できます。</li><li>Enable UEFI Network Stack (ネットワークスタックで有効)</li><li>有効 (デフォルト)</li><li>Enabled w/PXE (PXE で有効)</li></ul>
Integrated NIC 2	オンボード LAN コントローラを制御できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"><li>有効 (デフォルト)</li><li>Enable w/PXE (PXE で有効)</li></ul> <p><b>メモ:</b> この機能は T7610 でのみサポートされます。</p>
Serial Port	シリアルポートの設定を識別および定義します。シリアルポートは次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>無効</li></ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>COM1</b> ( デフォルト )</li> <li>・ COM2</li> <li>・ COM3</li> <li>・ COM4</li> </ul> <p><b>①</b> <b>メモ:</b> 設定が無効の場合でも、オペレーティングシステムがリソースを割り当てる場合があります。</p>
<b>SATA Operation</b>	
T3610 および T5610	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無効</li> <li>・ ATA</li> <li>・ <b>AHCI</b> ( デフォルト )</li> <li>・ RAID On ( RAID オン )</li> </ul> <p><b>①</b> <b>メモ:</b> RAID モードをサポートするには <b>SATA</b> を設定します。T7610 ではサポートする SATA オペレーションはありません。</p>
<b>Drives</b>	
T3610 および T5610	<p>基板上の SATA ドライブを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SATA3-HDD0</li> <li>・ SATA2-HDD2</li> <li>・ SATA2-ODD0</li> <li>・ SATA3-HDD1</li> <li>・ SATA2-HDD3</li> <li>・ SATA2-ODD1</li> </ul> <p>デフォルト設定：ドライブはすべて有効です。</p> <p><b>①</b> <b>メモ:</b> ハードドライブが RAID コントローラカードに接続されている場合、ハードドライブは全てのフィールドに {なし} と表示します。ハードドライブは RAID コントローラカード BIOS で見ることができます。</p>
・ T7610	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SATA2-ODD0</li> <li>・ SATA2-ODD1</li> </ul> <p>デフォルト設定：ドライブはすべて有効です。</p> <p><b>①</b> <b>メモ:</b> ハードドライブが RAID コントローラカードに接続されている場合、ハードドライブは全てのフィールドに {なし} と表示します。ハードドライブは RAID コントローラカード BIOS で見ることができます。</p>
<b>SMART Reporting</b>	
	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART ( Self Monitoring Analysis and Reporting Technology ) 仕様の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable SMART Reporting</b>( SMART レポートを有効にする ) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>
<b>USB Configuration</b>	
	<p>内部 USB 設定を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Enable Boot Support ( 起動サポートを有効にする )</li> <li>・ Front USB Ports ( 前面 USB ポート )</li> <li>・ Back Quad USB Ports ( 背面クワッド USB ポート )</li> <li>・ Enable internal USB ports ( 内部 USB ポートを有効にする )</li> <li>・ USB3 Ports ( USB3 ポート )</li> </ul>
<b>PCI Bus Configuration</b>	
	<p>PCI バスを次のオプションで設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>256 PCI</b> バス ( デフォルト )</li> <li>・ 128 PCI バス</li> <li>・ 64 PCI バス</li> </ul>

オプション	説明
<b>Memory Map IO above 4GB</b>	4 GB を超えるメモリマップ IO を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Memory Map IO above 4GB ( 4 GB を超えるメモリマップ IO )</b> - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>
<b>Optional HDD Fans</b>	HDD ファンを制御することができます。 デフォルト設定：システムの設定により異なります。
<b>オーディオ</b>	オーディオ機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定： <b>オーディオは有効です</b> 。
<b>SAS RAID Controller (T7610 only)</b>	内蔵 SAS RAID HDD コントローラのオペレーションを制御できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>有効</b> ( デフォルト )</li> <li>・ <b>無効</b></li> </ul>

### 表 3. ビデオ

オプション	説明
<b>Primary Video Slot</b>	プライマリ起動ビデオ装置を設定できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>自動</b> ( デフォルト )</li> <li>・ SLOT 1</li> <li>・ SLOT 2: VGA 互換</li> <li>・ SLOT 3</li> <li>・ SLOT 4</li> <li>・ SLOT 5</li> <li>・ SLOT 6</li> </ul>

### 表 4. セキュリティ

オプション	説明
<b>Internal HDD-0 Password</b>	このオプションではシステムの内蔵ハードディスクドライブ ( HDD ) のパスワードの設定、変更、または削除を行うことができます。
<b>Strong Password</b>	強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。 デフォルト設定： <b>Enable Strong Password</b> ( 強力なパスワードを有効にする ) は選択されません。
<b>Password Configuration</b>	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。
<b>Password Bypass</b>	システムパスワードが設定されている場合、パスワードをスキップする許可を次のオプションで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>無効</b> ( デフォルト )</li> <li>・ Reboot bypass ( 再起動のスキップ )</li> </ul>
<b>Password Change</b>	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードへの許可を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定： <b>Allow Non-Admin Password Changes</b> ( 管理者以外のパスワード変更を許可する ) は選択されていない
<b>TPM Security</b>	POST 中に、TPM ( Trusted Platform Module ) を有効にすることができます。 デフォルト設定： <b>オプションは無効に設定されています</b> 。
<b>Computrace</b>	オプションである Computrace ソフトウェアを次のオプションで起動または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>On-Silent</b> ( デフォルト )</li> <li>・ <b>無効</b></li> <li>・ <b>有効</b></li> </ul>
<b>Chassis Intrusion</b>	シャーシイントルージョン機能を制御できます。オプションは次の通りです。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効 ( デフォルト )</li> <li>One Time Enable ( 1 回のみ有効 )</li> <li>無効</li> </ul>
<b>CPU XD Support</b>	<p>プロセッサの Execute Disable ( 実行無効 ) モードを有効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : <b>Enable CPU XD Support</b> ( CPU XD サポートを有効にする )</p>
<b>OROM Keyboard Access</b>	<p>起動中にオプション ROM 設定画面にホットキーでユーザーが入力できるかどうか決定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効 ( デフォルト )</li> <li>One Time Enable ( 1 回のみ有効 )</li> <li>無効</li> </ul>
<b>Admin Setup Lockout</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。</p> <p>デフォルト設定 : <b>Disabled</b> ( 無効 )</p>

## 表 5. Secure Boot

オプション	説明
<b>Secure Boot Enable</b>	<p>安全起動機能を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 ( デフォルト )</li> <li>有効</li> </ul>
<b>Expert Key Management</b>	<p>カスタムモードのキー管理を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 ( デフォルト )</li> </ul>

## 表 6. パフォーマンス

オプション	説明
<b>Multi Core Support</b>	<p>このフィールドでは、プロセッサで有効になるコアの数 ( 1 個または全部 ) を指定します。アプリケーションによっては、コアを追加することで性能が向上します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートの有効 / 無効を切り替えることができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべて ( デフォルト )</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> <li>8</li> <li>9</li> </ul> <p><b>メモ:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示されるオプションはインストールされているプロセッサによって異なる可能性があります。</li> <li>オプションはインストールされているプロセッサがサポートするコアの数によります。( N-コアプロセッサ用すべて、1、2、N-1 )</li> </ul>
<b>Intel SpeedStep</b>	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : <b>Enable Intel SpeedStep</b> ( Intel SpeedStep を有効にする )</p>
<b>C States Control</b>	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : <b>Enabled</b> ( 有効 )</p>

オプション	説明
<b>Intel TurboBoost</b>	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 デフォルト設定: <b>Enable Intel TurboBoost</b> ( Intel TurboBoost を有効にする )
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 デフォルト設定: <b>Enabled</b> ( 有効 )
<b>Cache Prefetch</b>	デフォルト設定: <b>Enable Hardware Prefetch and Adjacent Cache Line Prefetch</b> ( ハードウェアプリフェッチと隣接キャッシュラインプリフェッチを有効にする )
<b>Dell Reliable Memory Technology ( RMT )</b>	システム RAM のメモリエラーを特定および分離することができます。 デフォルト設定: <b>Enable Dell Reliable Memory Technology (RMT)</b> ( Dell Reliable Memory Technology(RMT)を有効にする )  <span style="color: blue;">i</span> <b>メモ:</b> この機能は、ECC メモリモジュールがインストールされている場合に限り、T3610 でサポートされています。

## 表 7. 電源管理

オプション	説明
<b>AC Recovery</b>	AC 電源の停電後 AC 電源が戻った場合のコンピュータの反応の仕方を指定します。AC リカバリを以下のように設定できます： <ul style="list-style-type: none"> <li>電源オフ ( デフォルト )</li> <li>電源オン</li> <li>Last Power State ( 直前の電源状態 )</li> </ul>
<b>Auto On Time</b>	コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 ( デフォルト )</li> <li>Every Day ( 毎日 )</li> <li>Weekdays ( 平日 )</li> <li>Select Days ( 選択した日 )</li> </ul>
<b>Deep Sleep Control</b>	ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 ( デフォルト )</li> <li>Enabled in S5 only ( S5 のみで有効 )</li> <li>Enabled in S4 and S5 ( S4 と S5 で有効 )</li> </ul>
<b>Fan Speed Control</b>	システムの速度を制御できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動 ( デフォルト )</li> <li>高</li> <li>中速</li> <li>低</li> </ul>
<b>USB Wake Support</b>	USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。 デフォルト設定: <b>Disabled</b> ( 無効 )
<b>Wake on LAN</b>	特殊な LAN 信号でトリガーされると、電源オフの状態からコンピュータを起動させることができるオプションです。スタンバイ状態からのウェイクアップはこの設定の影響を受けず、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、コンピュータを AC 電源に接続している場合にのみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disabled ( 無効 )</b> - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。</li> <li><b>LAN Only ( LAN のみ )</b> - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> </ul> このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
<b>Block Sleep ( スリープのブロック )</b>	OS の環境でスリープ ( S3 状態 ) に入るのをブロックすることができます。 デフォルト設定: <b>Disabled</b> ( 無効 )

表 8. POST Behavior

オプション	説明
<b>Numlock LED</b>	システム起動時に NumLock 機能を有効にするかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>Keyboard Errors</b>	起動時にキーボード関連のエラーを報告するかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>Fastboot</b>	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Thorough (詳細)</b> - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>・ Minimal (最小)</li> <li>・ 自動</li> </ul>

表 9. 仮想化サポート

オプション	説明
<b>Virtualization</b>	このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Intel Virtualization Technology ( Intel 仮想化テクノロジーの有効化 )</b> - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>VT for Direct I/O</b>	ダイレクト I/O 向けインテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Enable Intel Virtualization Technology for Direct I/O ( Direct I/O 向け INtel VT の有効化 )</b> - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Trusted Execution</b>	この指定により、MVMM ( Measured Virtual Machine Monitor ) は、Intel Trusted Execution Program による追加ハードウェア機能を活用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Trusted Execution</b> - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>

表 10. メンテナンス

オプション	説明
<b>Service Tag</b>	コンピュータのサービスタグを表示します。
<b>Asset Tag</b>	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
<b>SERR Messages</b>	SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで設定されていません。SERR メッセージのメカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。

表 11. システムログ

オプション	説明
<b>BIOS events</b>	システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ログのクリア</li> </ul>

## Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS ( システム セットアップ ) をアップデートすることをお勧めします。

**メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
  - ・ サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、送信をクリックします。

- ・ [ **Detect Product** ] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[ **Choose from all products** ] をクリックします。
  4. リストから **Products** カテゴリを選択します。
    - ① **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
  5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の **製品サポート** ページが表示されます。
  6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。  
[ Drivers and Downloads ] セクションが開きます。
  7. [ **Find it myself** ] をクリックします。
  8. [ **BIOS** ] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
  9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
  10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード** をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
  11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存** をクリックします。
  12. **実行** をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。

## システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 12. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

① **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

## システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは**管理者**パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、**セキュリティ** を選択し、**Enter** を押します。  
セキュリティ画面が表示されます。
2. システム/管理者パスワードを選択し、**新しいパスワード**を入力フィールドでパスワードを作成します。  
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、( )、( + )、( , )、( - )、( . )、( / )、( ; )、( [ )、( \ )、( ] )、( ` )
3. **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。  
PC が再起動します。

## 既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、パスワード ステータスが (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、**Enter** を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。  
**メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。  
PC が再起動されます。

## システムパスワードを無効にする

システムのソフトセキュリティ機能には、システムパスワードやセットアップパスワードがあります。パスワードジャンパは現在使用しているパスワードを無効にします。PSWD ジャンパには2つのピンが存在します。

**メモ:** パスワードジャンパはデフォルトで無効に設定されています。

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. システム基板の PSWD ジャンパを特定します。システム基板の PSWD ジャンパを特定するには、「システム基板コンポーネント」を参照してください。
4. システム基板から PSWD ジャンパを取り外します。  
**メモ:** 既存のパスワードはジャンパなしでコンピューターを起動するまでは無効に (消去) できません。
5. カバーを取り付けます。  
**メモ:** PSWD ジャンパを取り付けた状態のまま新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらか一方を設定すると、システムは次回の起動時に新しいパスワードを無効にします。
6. コンピューターをコンセントに接続し、電源を入れます。
7. コンピューターの電源を切り、コンセントから電源ケーブルを外します。
8. カバーを取り外します。
9. ピンのジャンパを交換します。
10. カバーを取り付けます。
11. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。
12. コンピューターの電源を入れます。
13. 「セットアップユーティリティ」に進み、新しいシステムパスワードまたはセットアップパスワードを入力します。



コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

トピック：

- ・ ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断

## ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断

ePSA 診断 (システム診断とも呼ばれる) ではハードウェアの完全なチェックを実行します。ePSA は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスまたはデバイスグループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

ePSA 診断は、コンピューターの電源投入中は、FN+PWR ボタンで開始できます。

- ・ テストを自動的に、または対話モードで実行
- ・ テストの繰り返し
- ・ テスト結果の表示または保存
- ・ 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- ・ テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- ・ テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

**①** **メモ:** 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

# コンピュータのトラブルシューティング

## 診断 LED




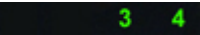
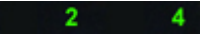


**メモ:** 診断 LED は POST (Power-on Self-Test) プロセスにおける進捗状況のインジケータです。POST ルーチンを停止させる問題については表示しません。

診断 LED はシャーシの前面、電源ボタンの隣にあります。これらのライトは、POST の間のみアクティブになり、表示されます。オペレーティングシステムのロードが始まると、オフになり、表示されなくなります。

各 LED には OFF と ON の 2 つの状態があります。LED スタックには段階的または全体に、最上位ビットには 1 番のラベルが付けられており、他の 3 つには、2、3、および 4 番のラベルが付けられています。POST 後の通常の操作状態は、4 つすべての LED について ON になっており、その後 BIOS がコントロールをオペレーティングシステムに引き継ぐと電源は切れます。

**メモ:** 電源ボタンが琥珀色、または消灯している場合、診断ライトが点滅します。電源ボタンが白色の場合は、点滅しません。

表 13. POST 診断 LED パターン

診断 LED	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。</li> <li>コンピュータが起動し通常通り作動しています。</li> <li>コンピュータの電源が切れたら、AC 電源に接続しコンピュータの電源をオンにします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCI デバイス設定アクティビティが進行中であるか、PCI デバイス障害が検出されています。</li> <li>PCI および PCI-E スロットから周辺機器カードを取り外し、コンピュータを再起動します。コンピュータが再起動したら、障害のあるカードを特定できるまで、周辺機器カードを 1 枚ずつ追加していきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセッサに障害が発生しています。</li> <li>プロセッサを取り付け直します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリモジュールが検出されましたが、メモリ電源障害が発生しています。</li> <li>2 個以上のメモリモジュールを取り付けている場合、モジュールを取り外し、1 個だけ再度取り付け、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動したら、障害のあるモジュールを特定できるまで、別のモジュール (1 回に 1 個ずつ) を取り付けるか、エラーのないモジュールをすべて取り付け直します。メモリモジュールを 1 個だけ取り付けている場合、別の DIMM コネクタに移動し、コンピュータを再起動します。</li> <li>同じ種類の正常に動作しているメモリがあれば、そのメモリをコンピュータに取り付けます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィックスカードに障害が発生した可能性があります。</li> <li>ディスプレイ/モニターが外付けのグラフィックスカードに接続されていることを確認します。</li> <li>グラフィックスカードを取り付け直します。</li> <li>正常に動作することが分かっているグラフィックカードがある場合、そのカードをコンピュータに取り付けます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードドライブに障害が起こっている可能性があります。</li> <li>電源ケーブルとデータケーブルを取り付け直します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB に障害が発生しています。</li> <li>すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認します。</li> </ul>

- |                       |  |   |
|-----------------------|--|---|
| <p><b>1</b></p>       | <p>メモリモジュールが検出されません。</p>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2個以上のメモリモジュールを取り付けている場合、モジュールを取り外し(サービスマニュアル参照)、1個だけ再度取り付け、コンピューターを再起動します。コンピューターが正常に起動したら、障害のあるモジュールを特定できるまで、別のモジュール(1回に1個ずつ)を追加するか、エラーのないモジュールをすべて取り付け直します。</li> <li>・ 同じ種類の正常に動作しているメモリがあれば、そのメモリをコンピューターに取り付けます。</li> </ul>  |
| <p><b>1 4</b></p>     | <p>電源コネクタが正しく取り付けられていません。</p>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源ユニットの2x2電源コネクタを取り付け直します。</li> </ul>  |
| <p><b>1 3</b></p>     | <p>メモリモジュールは検出されましたが、メモリの設定または互換性エラーが発生しています。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メモリモジュール/メモリコネクタの配置に特別な要件がないことを確認します。</li> <li>・ 使用するメモリがお使いのコンピューターでサポートされていることを確認します。</li> </ul>   |
| <p><b>1 3 4</b></p>   | <p>システム基板のリソースおよびハードウェアのどちらかまたは両方の障害が発生した可能性があります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CMOSをクリアします(コイン型バッテリーを取り付け直します。「コイン型バッテリーの取り外しと取り付け」を参照してください)。</li> <li>・ 内蔵および外付け周辺機器をすべて取り外し、コンピューターを再起動します。コンピューターが再起動したら、障害のあるカードを特定できるまで、周辺機器カードを1枚ずつ追加していきます。</li> <li>・ それでも問題が解決しない場合は、システム基板/システム基板コンポーネントに障害があります。</li> </ul>   |
| <p><b>1 2</b></p>     | <p>システム基板に障害が発生した可能性があります。</p>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内蔵および外付け周辺機器をすべて取り外し、コンピューターを再起動します。コンピューターが再起動したら、障害のあるカードを特定できるまで、周辺機器カードを1枚ずつ追加していきます。</li> <li>・ それでも問題が解決しない場合は、システム基板に障害があります。</li> </ul>  |
| <p><b>1 2 3</b></p>   | <p>他の障害が発生しています。</p>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスプレイ/モニターが外付けのグラフィックスカードに接続されていることを確認します。</li> <li>・ ハードドライブおよびオプティカルドライブケーブルが正しくシステム基板に接続されていることを確認します。</li> <li>・ デバイス(フロッピードライブやハードドライブなど)のエラーメッセージが画面に表示されている場合は、そのデバイスが正常に機能しているかどうかを確認します。</li> <li>・ OSがデバイス(フロッピードライブまたはオプティカルドライブなど)からの起動を試みている場合は、セットアップユーティリティを使用して、コンピューターに取り付けられているデバイスの起動順序が適切かどうかを確認します。</li> </ul> |
| <p><b>4</b></p>       | <p>システムがリカバリモードになっている。</p>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BIOSのチェックサム障害が検出され、現在システムはリカバリモードになっています。</li> </ul>   |
| <p><b>1 2 3 4</b></p> | <p>起動ハンドオフ</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ POSTプロセスの終了を示します。POSTが完了するとLEDは通常少しの間この状態になります。オペレーティングシステムへのハンドオフが完了するとLEDはオフになります。</li> </ul>  |

## エラーメッセージ

表示される BIOS エラーメッセージには、問題の重要度に応じて次の2つの種類があります。

## コンピューターを停止させないエラー

これらはコンピューターを停止させるエラーメッセージではありませんが、警告メッセージを表示し、数秒後に起動を行います。エラーメッセージの一覧を次の表に示します。

表 14. コンピューターを停止させないエラー

### エラーメッセージ

---

警告! カバーが取り外されています。

## コンピューターを段階的に停止させるエラー

これらはコンピューターを段階的に停止させるエラーメッセージであり、<F1> を押して続けるか、<F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスするかの指示があります。エラーメッセージの一覧を次の表に示します。

表 15. — コンピューターを段階的に停止させるエラー

### エラーメッセージ

---

警告! 前面 I/O ケーブルの障害です。

警告! 左側メモリファンの障害です。

警告! 右側メモリファンの障害です。

警告! PCI ファンの障害です。

警告! チップセットヒートシンクが検知されません。

警告! ハードドライブファン 1 の障害です。

警告! ハードドライブファン 2 の障害です。

警告! ハードドライブファン 3 の障害です。

警告! CPU 0 ファンの障害です。

警告! CPU 1 ファンの障害です。

警告! メモリに関連した障害を検知しました。

警告! メモリスロット DIMMx で修正可能なメモリエラーが検知されています。

警告: メモリに適切でない装着箇所が検知されました。メモリ帯域幅を増設する場合、DIMM コネクターをまず白色のラッチで装着し、続いて黒色のラッチで装着します。

お使いのシステムに設定変更が行われましたが、現在の電源ユニットはこの変更に対応していません。ワット数がより大きな電源ユニットへのアップグレードについては、デルテクニカルサポートチームにお問い合わせください。

Dell RMT ( Reliable Memory Technology ) がシステムメモリでエラーを検出しており、エラーは特定されています。作業を続けることはできます。メモリモジュールの交換をお勧めします。DIMM 情報の詳細については、BIOS セットアップでの RMT イベントログ画面を参照してください。

Dell RMT ( Reliable Memory Technology ) がシステムメモリでエラーを検出しており、エラーは特定されています。作業を続けることはできます。これ以上のエラーは特定されません。メモリモジュールの交換をお勧めします。DIMM 情報の詳細については、BIOS セットアップでの RMT イベントログ画面を参照してください。

## 技術仕様

**メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。コンピューターの構成の詳細については、**Windows** オペレーティングシステムで[ヘルプとサポート]を開き、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 16. プロセッサ

機能	仕様
種類	4、6、8、10、 および 12 コア Intel Xeon E5 v2 プロセッサ
キャッシュ	
インストラクションキャッシュ	32 KB
データキャッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 32 KB</li> <li>・ 256 kB ミッドレベルキャッシュ/コア</li> <li>・ すべてのコアで共有される最大 30 MB のラストレベルキャッシュ (LLC) (2.5 MB/コア)</li> </ul>

表 17. システム情報

機能	仕様
チップセット	Intel C600 チップセット
BIOS チップ (NVRAM)	8 MB + 4 MB シリアルフラッシュ EEPROM

表 18. メモリ

機能	仕様
メモリモジュールコネクタ	
T3610 / T5610	DIMM スロット × 8
T7610	DIMM スロット × 16
メモリモジュールの容量	
T3610 / T5610	2 GB、4 GB、8 GB、 および 16 GB
T7610	2 GB、4 GB、8 GB、16 GB、 および 32 GB
種類	
T3610	1600 および 1866 DDR3 RDIMM ECC/Non-ECC
T5610	1600 および 1866 DDR3 RDIMM ECC
T7610	1600 および 1866 DDR3 RDIMM および 32 GB LRDIMM ECC
最小メモリ	
T3610 / T5610 / T7610	4 GB
最大メモリ	
T3610 / T5610	128 GB
T7610	512 GB

表 19. ビデオ

機能	仕様
ディスプレイ (PCIe 3.0/2.0 x16)	

機能	仕様
T3610 / T5610	最大 2 フルハイト、フルレングス (最大 300 W)
T7610	最大 4 フルハイト、フルレングス (最大 600 W)

表 20. オーディオ

機能	仕様
内蔵	Realtek ALC3220 オーディオコーデック

表 21. ネットワーク

機能	仕様
T3610 / T5610	Intel 82759
T7610	Intel 82759 および Intel 82754

表 22. 拡張インターフェース

機能	仕様
PCI :	
SLOT1	PCI Express 3.0 x 8、8 GB/ 秒
SLOT2	PCI Express 3.0 x 16、16 GB/ 秒
SLOT3	PCI Express 2.0 x 1、0.5 GB/ 秒
SLOT4	PCI Express 3.0 x 16、16 GB/ 秒
SLOT5	PCI Express 2.0 x 4、2 GB/ 秒
SLOT6	PCI 2.3 ( 32 ビット、33 MHz )、133 MB/ 秒
ストレージ ( HDD/SSD ) :	
SATA3-HDD0	Intel AHCI SATA 3.0、6 Gbps
SATA3-HDD1	Intel AHCI SATA 3.0、6 Gbps
SATA2-HDD2	Intel ACHI SATA 2.0、3 Gbps
SATA2-HDD3	Intel ACHI SATA 2.0、3 Gbps
ストレージ ( ODD ) :	
SATA2-ODD0	Intel AHCI SATA 2.0、3 Gbps
SATA2-ODD1	Intel AHCI SATA 2.0、3 Gbps
USB :	
前面ポート	USB 3.0、5 Gbps ( 1 ポート )、USB 2.0、480 Mbps ( 3 ポート )
背面ポート	USB 3.0、5 Gbps ( 3 ポート )、USB 2.0、480 Mbps ( 3 ポート )
内部ポート	USB 2.0、480 Mbps ( 3 ポート )

表 23. ドライブ

機能	仕様
T3610 / T5610	
外部アクセス可能 :	
スリムライン SATA オプティカルベイ ( 1 )	
5.25 インチドライブベイ ( 1 )	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 つの 5.25 インチ SATA デバイスまたは 1 つの 3.50 インチ SATA HDD デバイスをサポート</li> <li>1 つのメディアカードリーダーをサポート</li> </ul>

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大で2つの2.5インチSAS/SATA/HDDs/SSDs (オプションのアダプタ付き)をサポート</li> </ul>
内部アクセス用	
3.5インチハードドライブベイ	(2)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの3.5インチSATAをサポート</li> <li>2.5インチSAS/SATA/HDD/SSDsをサポート</li> </ul>
T7610	
外部アクセス可能:	
スリムラインSATA光学ベ	(1)
5.25インチドライブベイ	(1)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの5.25インチデバイスをサポート</li> <li>1つのメディアカードリーダーをサポート</li> <li>最大で4つの2.5インチハードドライブ(オプションのアダプタ付き)をサポート</li> </ul>
3.5インチハードドライブベイ	(4)
内部アクセス用	なし

表 24. 外部コネクタ

機能	仕様
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>前面パネル — マイク入力、ヘッドフォン出力</li> <li>背面パネル — ライン出力、マイク入力/ライン入力</li> </ul>
ネットワーク	
T3610/T5610	RJ-45 (1)
T7610	RJ-45 (2)
シリアル	9ピンコネクタ (1)
USB	
T3610 / T5610 / T7610	<ul style="list-style-type: none"> <li>前面パネル — USB 2.0 x 3、および USB 3.0 x 1</li> <li>背面パネル — USB 2.0 x 3、および USB 3.0 x 1</li> <li>内部 — USB 2.0 x 3</li> </ul>
ビデオ	ビデオカード依存
	<ul style="list-style-type: none"> <li>DVI コネクタ</li> <li>DisplayPort</li> <li>DMS-59</li> </ul>

表 25. 内蔵コネクタ

機能	仕様
システム電源	28ピンコネクタ (1)
システムファン	4ピンコネクタ (3)
プロセッサファン	
T3610	5ピンコネクタ (1)
T5610/T7610	5ピンコネクタ (2)
HDD ファン	
T3610 / T5610	5ピンコネクタ (1)

機能	仕様
T7610	5 ピンコネクタ (3)
メモリ	
T3610 / T5610	240 ピンコネクタ (8)
T7610	240 ピンコネクタ (16)
プロセッサ	
T3610	LGA-2011 ソケット (1)
T5610 / T7610	LGA-2011 ソケット (2)
背面 I/O :	
PCI Express	
PCI Express x4	
T3610 / T5610	164 ピンコネクタ (2)
T7610	98 ピンコネクタ (1)、164 ピンコネクタ (1)
PCI Express x16	
T3610 / T5610	164 ピンコネクタ (2)
T7610	164 ピンコネクタ (2) (オプションの 2 つ目のプロセッサが取り付けられている場合は 4 つ)
PCI 2.3	124 ピンコネクタ (1)
前面 I/O :	
前面 USB	14 ピンコネクタ (1)
内蔵 USB	タイプ A メス (1)、デュアルポート 2x5 ヘッダー (1)
前面 パネルコントロール	2x14 ピンコネクタ (1)
前面 パネルオーディオ HDA ヘッダー	2x5 ピンコネクタ (1)
ハードドライブ / オプティカルドライブ :	
SATA	
T3610 / T5610	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDD 用 7 ピン SATA コネクタ (4)</li> <li>・ ODD 用 7 ピン SATA コネクタ (2)</li> </ul>
T7610	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDD 用 36 ピン mini-SAS コネクタ (2)</li> <li>・ ODD 用 7 ピン SATA コネクタ (2)</li> </ul>
電源	
T3610	24 ピンコネクタおよび 8 ピンコネクタ (各 1)
T5610	24 ピンコネクタ (1) および 8 ピンコネクタ (2)
T7610	24 ピンコネクタおよび 20 ピンコネクタ (各 1)

表 26. コントロールとライト

機能	仕様
電源ボタンライト :	<p>消灯 - システムの電源が入っていないか、または電源に接続されていません。</p> <p>白色のライトの点灯 — コンピュータは正常に動作しています。</p> <p>白色のライトの点滅 — コンピュータは待機モードです。</p> <p>琥珀色のライトの点灯 — コンピュータは起動しておらず、システム基板または電源ユニットに問題があることを示します。</p> <p>琥珀色のライトの点滅 — システム基板に問題があることを示します。</p>



機能	仕様
ドライブアクティビティライト	白色ライト — 白色ライトが点滅している場合、コンピュータがハードドライブからデータを読み取っているか、またはハードドライブにデータを書き込んでいることを示します。
ネットワークリンクインテグリティライト (背面パネル)	緑色のライト — ネットワークとコンピュータが 10 MB/s の速度で正しく接続されていることを示します。 オレンジ色のライト — ネットワークとコンピュータが 100 MB/s の速度で正しく接続されていることを示します。 黄色のライト — ネットワークとコンピュータが 1000 MB/s の速度で正しく接続されていることを示します。
ネットワークアクティビティライト (背面パネル)	黄色のライト — 接続でネットワーク動作があると点滅します。
診断ライト	オフ — コンピュータはオフ、または POST を完了しています。 琥珀色のライト/点滅 — サービスマニュアルで診断コードを参照してください。

表 27. 電源

機能	仕様
コイン型電池	3 V CR2032 コイン型リチウム電池
電圧	100 ~ 240 VAC
ワット数	
T3610	685 / 425 W ( 100 VAC ~ 240 VAC の入力電圧 )
T5610	825 / 685 W ( 100 VAC ~ 240 VAC の入力電圧 )
T7610	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1000 W ( 100 VAC ~ 107 VAC の入力電圧 )</li> <li>・ 1300 W ( 181 VAC ~ 240 VAC の入力電圧 )</li> <li>・ 1100 W ( 108 VAC ~ 180 VAC の入力電圧 )</li> </ul>
最大熱消費	
1300 W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4015.3 BTU/Hr ( 100 VAC )</li> <li>・ 4365.5 BTU/Hr ( 107 VAC )</li> <li>・ 5099.9 BTU/Hr ( 181 VAC )</li> </ul>
825 W	3312.6 BTU/Hr
685 W	2750.5 BTU/Hr
425 W	1706.5 BTU/Hr

 **メモ:** 熱放散は電源のワット数定格に基づいて算出されています。

表 28. 物理的仕様

機能	仕様
T5610	
高さ (スタビライザを含む)	416.90 mm ( 16.41 インチ )
高さ (スタビライザを含まない)	414.00 mm ( 16.30 インチ )
T3610	
高さ (スタビライザを含む)	175.50 mm ( 6.91 インチ )
高さ (スタビライザを含まない)	414.00 mm ( 16.30 インチ )
T3610 / T5610	
幅	172.60 mm ( 6.79 インチ )
奥行き	471.00 mm ( 18.54 インチ )

機能	仕様
重量 (最小):	14.00 kg ( 30.86 ポンド ) / 13.2 kg ( 29.10 ポンド )
T7610	
高さ (スタビライザを含む)	433.40 mm ( 17.06 インチ )
高さ (スタビライザを含まない)	430.50 mm ( 16.95 インチ )
幅	216.00 mm ( 8.51 インチ )
奥行き	525.00 mm ( 20.67 インチ )
重量 (最小)	16.90 kg ( 37.26 ポンド )

表 29. 環境

機能	仕様
温度:	
稼働時	10 ~ 35 °C ( 50 ~ 95 °F )
保管時	-40 ~ 65 °C ( -40 ~ 149 °F )
相対湿度 (最大)	20 % ~ 80 % ( 結露しないこと )
最大振動:	
稼働時	0.0002 G <sup>2</sup> /Hz で 5 ~ 350 Hz
保管時	0.001 ~ 0.01 G <sup>2</sup> /Hz で 5 ~ 500 Hz
最大衝撃:	
稼働時	パルス持続時間 2 ミリ秒 +/- 10% で 40 G +/- 5% ( 51 cm/秒 [20 インチ/秒] に相当 )
保管時	パルス持続時間 2 ミリ秒 +/- 10% で 105 G +/- 5% ( 127 cm/秒 [50 インチ/秒] に相当 )
高度:	
稼働時	-15.2 ~ 3,048 m ( -50 ~ 10,000 フィート )
保管時	-15.2 ~ 10,668 m ( -50 ~ 35,000 フィート )
空気中浮遊汚染物質レベル	G1 ( ISA-S71.04-1985 の定義による )

## デルへのお問い合わせ

**①** **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。